

新宿区子ども・子育て支援に関する調査 報告書（概要版）



令和6（2024）年3月
新宿区

～ 主要設問項目の調査結果 ～

< 目次 >

	設問項目	対象調査票	ページ
(1)	新宿区での子育てについて	①② ⑥	2
(2)	子どもを産み育てやすい社会に必要なこと	①② ⑥	4
(3)	子育てが楽しいか	①② ⑥	5
(4)	子育てが辛いと思うことがあるか	①② ⑥	6
(5)	子育てに関して悩んでいること	①② ⑥	7
(6)	母親の就労状況	①②	8
(7)	育児休業の取得状況／育児休業を取得していない理由	①	9
(8)	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況及び利用意向	①	11
(9)	利用する事業を選択する際に考慮する点	①	12
(10)	放課後の居場所の希望	①②	13
(11)	子育て支援事業の認知度・利用状況・利用希望	①② ⑥	15
(12)	自己肯定感	③ ⑤ ⑦	17
(13)	悩んだり困ったりすることについて	③ ⑤ ⑦⑧	18
(14)	悩んだり困ったりしたときに相談するか	③ ⑤ ⑦⑧	20
(15)	食事等の生活習慣の状況	③ ⑤ ⑦	21
(16)	インターネットの利用に関すること	③ ⑤ ⑦	22
(17)	インターネットの利用に関する相談相手	③ ⑤ ⑦	24
(18)	インターネットの利用で気をつけていること／気をつけるよう教えていること	③④⑤⑥⑦	25
(19)	希望の職業について	⑦⑧	27
(20)	ヤングケアラーについて	①②③④⑤⑥⑦	28
(21)	コロナ禍以降も続く生活の変化	①②③④⑤⑥⑦⑧	29



1. 調査の目的

新宿区では、現行の「新宿区子ども・子育て支援事業計画（第二期）」（令和2年度～令和6年度）の成果を検証するとともに、子どもや子育て家庭、若者など区民の意識と生活実態を把握し、令和7年度からの「新宿区子ども・子育て支援事業計画（第三期）」（令和7年度～令和11年度）策定の基礎資料とすることを目的として調査を実施しました。

2. 調査設計

(1) 調査地域：新宿区全域

(2) 標本抽出：住民基本台帳に基づく層化無作為抽出

(3) 調査方法：郵送で調査票を配布・回収（はがきによる再依頼を1回）

回答は無記名、インターネットでの回答も可

調査対象③④及び⑤⑥は同一世帯に調査、その他同一世帯の重複調査はなし

(4) 調査期間：令和5年9月25日（月）～10月15日（日）

3. 調査対象と回収率

調査対象者		調査数	回収数	回収率
① 就学前児童保護者	区内在住の就学前児童の保護者	2,500	1,247	49.9%
② 小学生保護者	区内在住の小学校1年生から6年生の保護者	2,200	1,042	47.4%
③ 小学校5・6年生	区内在住の小学校5年生及び6年生	800	259	32.4%
④ 小学校5・6年生の保護者	区内在住の小学校5年生及び6年生の保護者	800	322	40.3%
⑤ 中学生	区内在住の中学校1年生から3年生	800	232	29.0%
⑥ 中学生保護者	区内在住の中学校1年生から3年生の保護者	800	328	41.0%
⑦ 青少年	15歳から17歳までの区民	1,000	277	27.7%
⑧ 若者	18歳から39歳までの区民	1,200	235	19.6%
合計		10,100	3,942	39.0%

4. 報告書の見方

- 1) 基数となるべき実数（n [number of cases の略]）は、設問に対する回答者数です。
- 2) 集計は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、あるいは複数回答のため、数値の合計が100%にならない場合があります。
- 3) 図表作成の都合上、選択肢表記や回答の小さい比率は、短縮・省略している場合があります。
- 4) 図表中では、回答者がいない場合は「0」と表示し、経年比較や調査票間の比較により、該当の選択肢がない場合は「-」と表示しています。
- 5) 指定した個数を超えて回答した場合も、矛盾がない場合に限り有効回答としています。

5. 調査結果の概要

(1) 新宿区での子育てについて

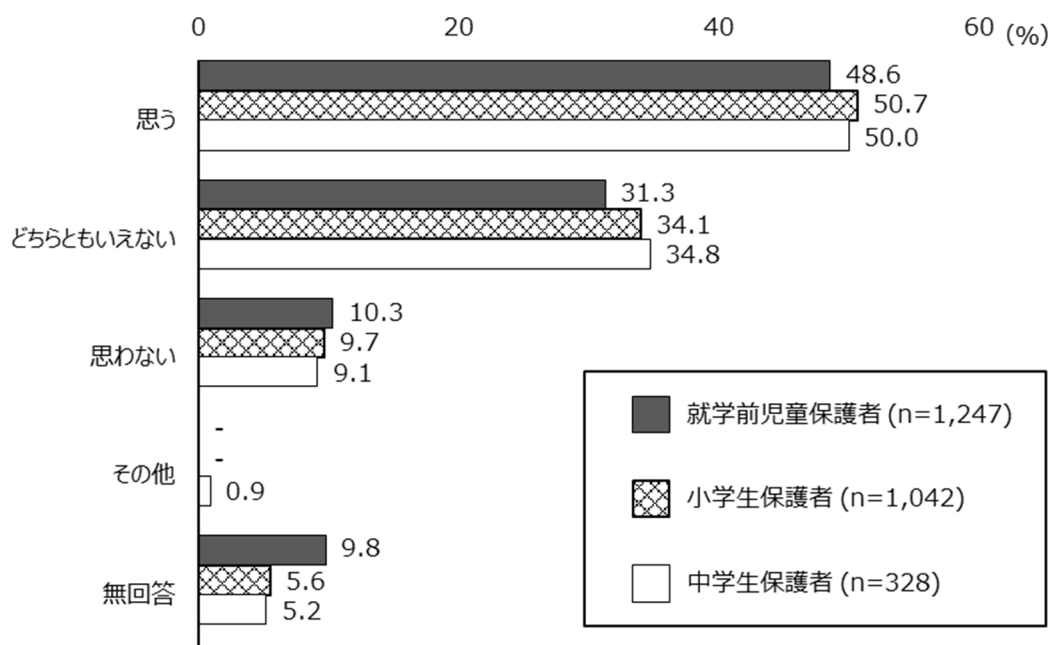
「新宿区子ども・子育て支援事業計画」では、「子育てしやすいまちの実現」を基本目標に掲げ、「子育てしやすいまちだと思える人」の割合を増やすことを数値目標として定めています。就学前児童保護者及び小学生保護者向け調査における数値目標65%に対する結果は以下の通りです。

図表 1 新宿区は、子育てしやすいまちだと思えるか <経年比較>
【①就学前児童保護者・②小学生保護者】

	就学前児童保護者			小学生保護者		
	H25年度 (1,337)	H30年度 (1,214)	R5年度 (1,247)	H25年度 (805)	H30年度 (1,128)	R5年度 (1,042)
思う	47.0%	59.3%	48.6%	54.9%	61.9%	50.7%
思わない	18.8%	11.2%	10.3%	11.7%	9.7%	9.7%
どちらとも言えない	33.1%	27.2%	31.3%	31.1%	27.0%	34.1%
その他	0.3%	0.4%	—	0.4%	0.3%	—
無回答	0.9%	1.9%	9.8%	2.0%	1.2%	5.6%

新宿区が「子育てしやすいまちだと思える」と回答した人は、就学前児童保護者で48.6%、小学生保護者で50.7%、中学生保護者で50.0%となっています。

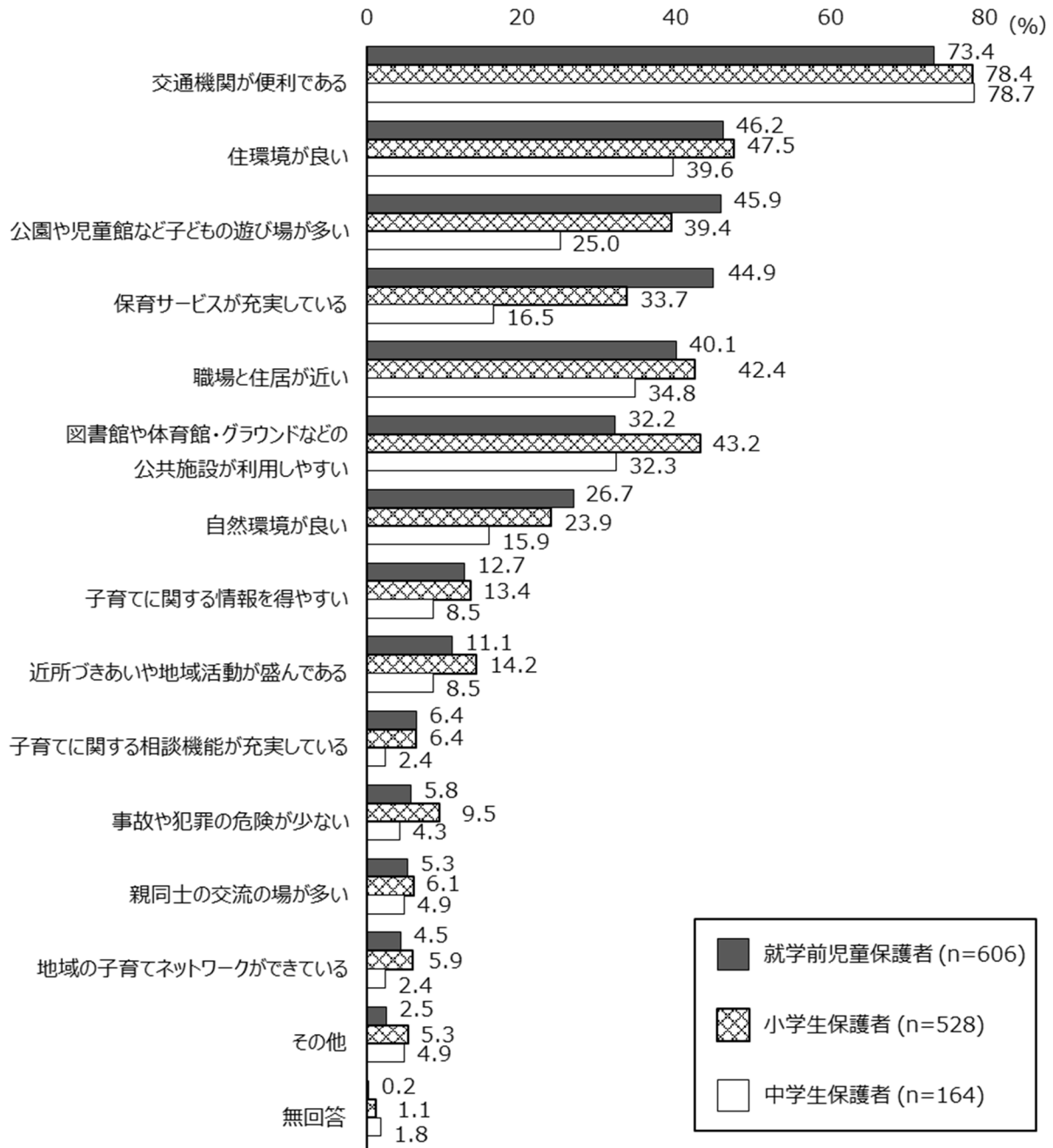
図表 2 新宿区は、子育てしやすいまちだと思えるか
【①就学前児童保護者・②小学生保護者・③中学生保護者】



子育てしやすいまちだと思う理由は、「交通機関が便利である」と「住環境が良い」が多くなっています。そのほか、就学前児童保護者については、「公園や児童館など子どもの遊び場が多い」や「保育サービスが充実している」などの子育て環境が充実していることが挙げられます。

図表 3 子育てしやすいまちだと思う理由（複数回答）

【①就学前児童保護者・②小学生保護者・③中学生保護者】

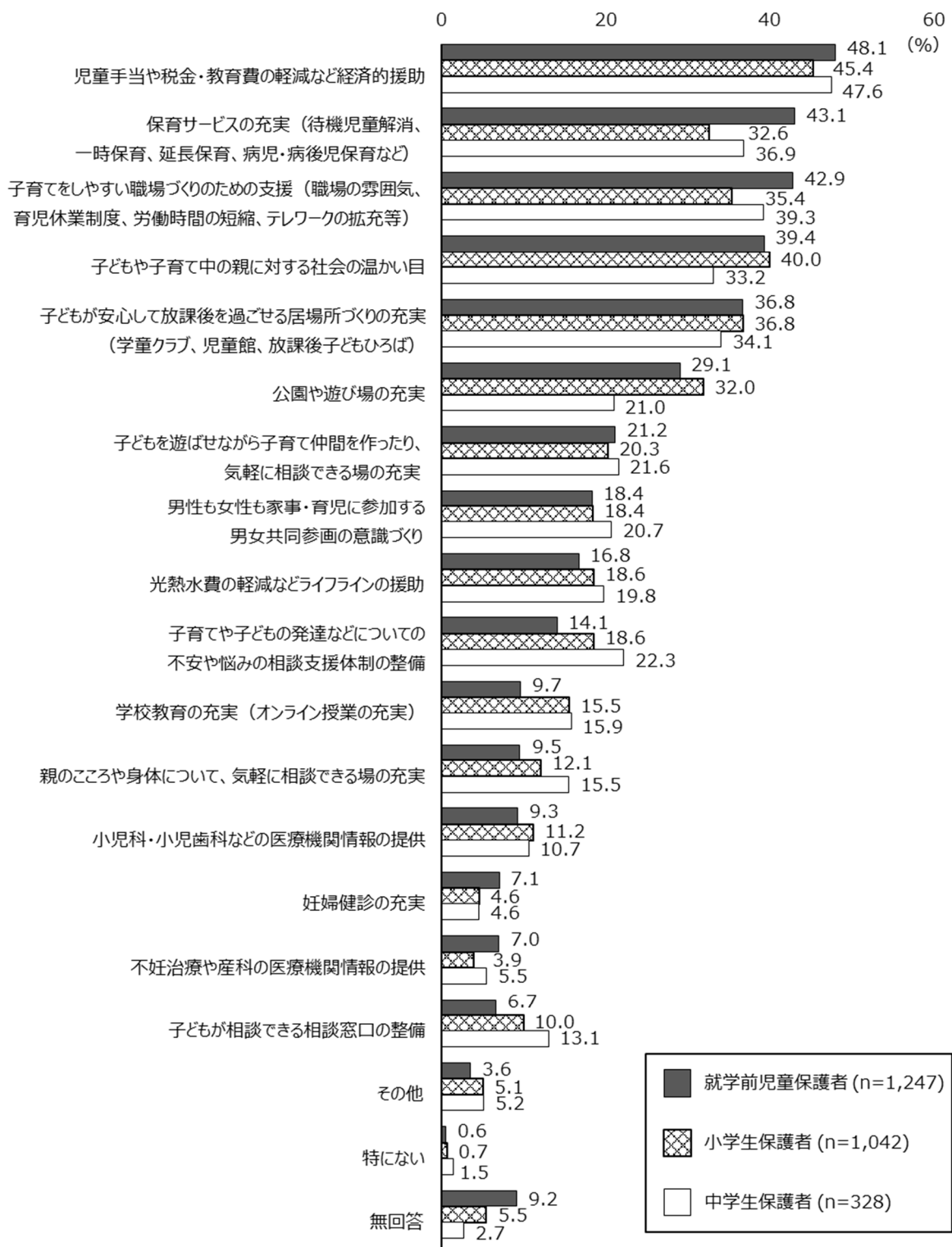


(2) 子どもを産み育てやすい社会に必要なこと

子どもを育てやすい社会に必要なことについては、「児童手当や税金・教育費の軽減など経済的援助」が、就学前児童保護者で 48.1%、小学生保護者で 45.4%、中学生保護者で 47.6%と最も多くなっています。

図表 4 子どもを育てやすい社会に必要なこと（3つまで）

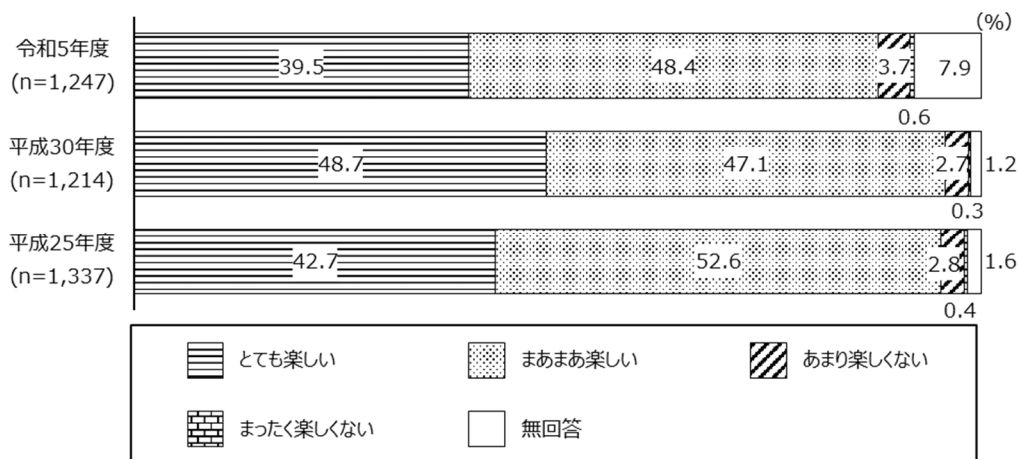
【①就学前児童保護者・②小学生保護者・③中学生保護者】



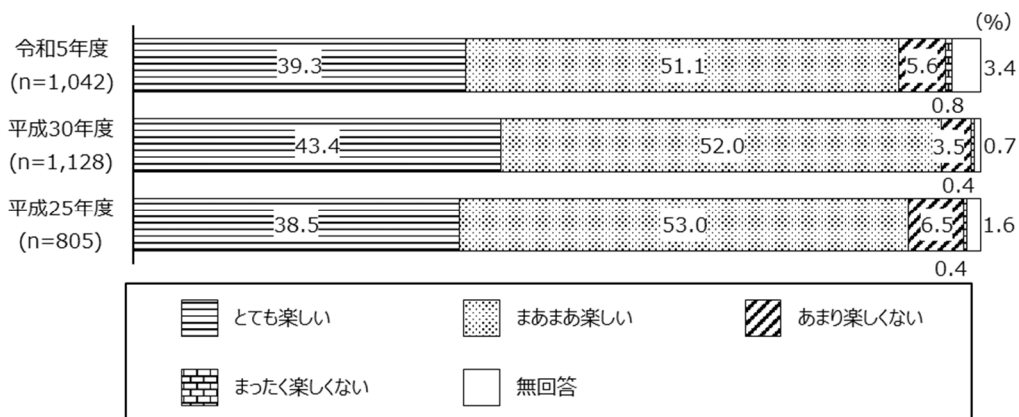
(3) 子育てが楽しいか

子育てが楽しいかについて、「とても楽しい」と「まあまあ楽しい」との合計は、就学前児童保護者で 87.9%、小学生保護者で 90.4%、中学生保護者で 91.2%となっており、前回調査と比較して減少しています。

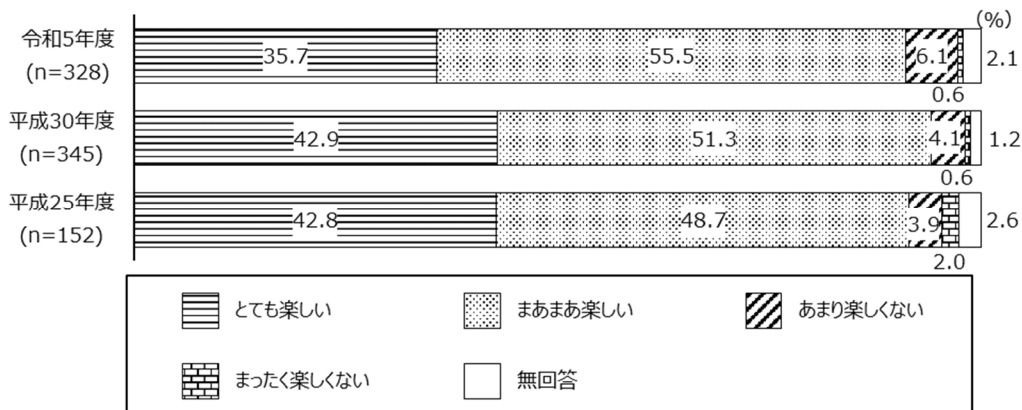
図表 5 子育てが楽しいか <経年比較> 【①就学前児童保護者】



図表 6 子育てが楽しいか <経年比較> 【②小学生保護者】



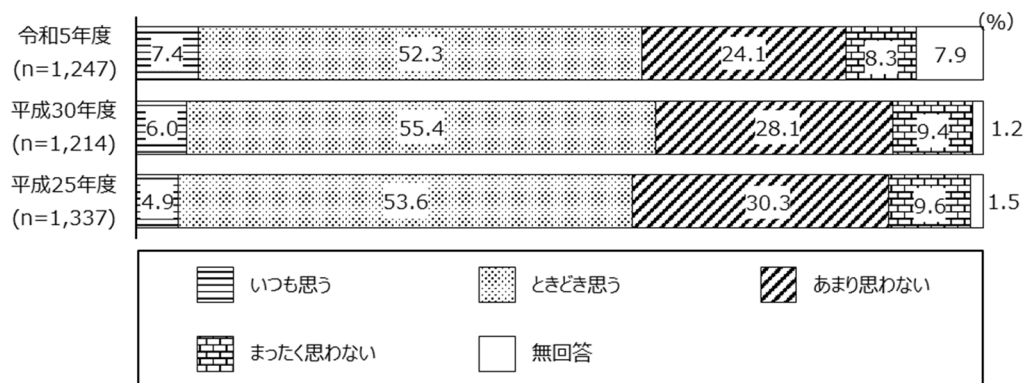
図表 7 子育てが楽しいか <経年比較> 【③中学生保護者】



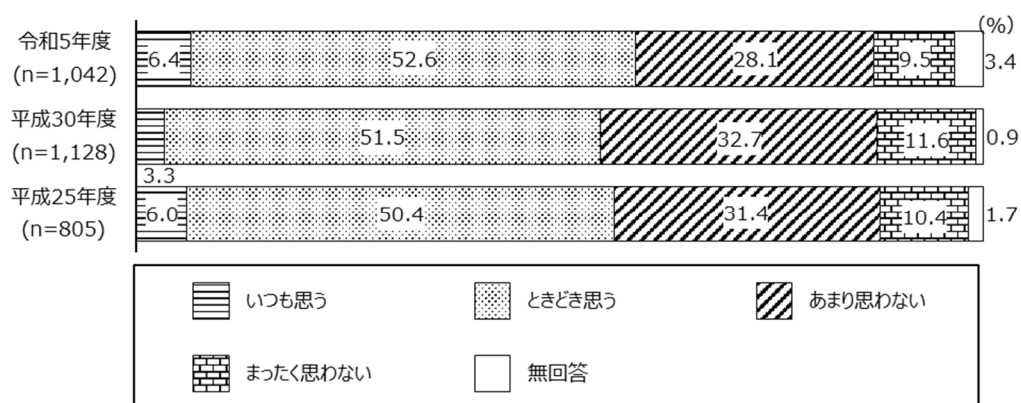
(4) 子育てが辛いと思うことがあるか

子育てが辛いと思うことがあるかについて、「いつも思う」と「ときどき思う」との合計は、就学前児童保護者で 59.7%、小学生保護者で 59.0%、中学生保護者で 53.4%となっています。また、「いつも思う」は、就学前児童保護者で 7.4%、小学生保護者で 6.4%、中学生保護者で 6.4%と、前回調査と比較して微増しています。

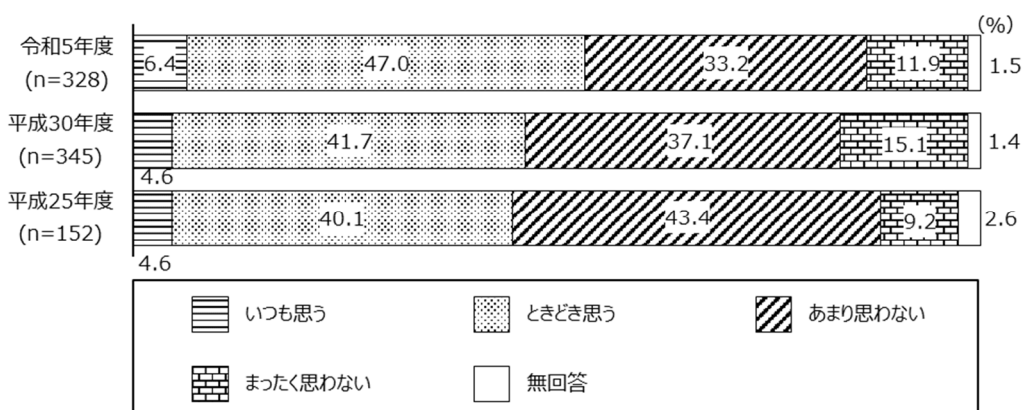
図表 8 子育てが辛いと思うことがあるか <経年比較> 【①就学前児童保護者】



図表 9 子育てが辛いと思うことがあるか <経年比較> 【②小学生保護者】



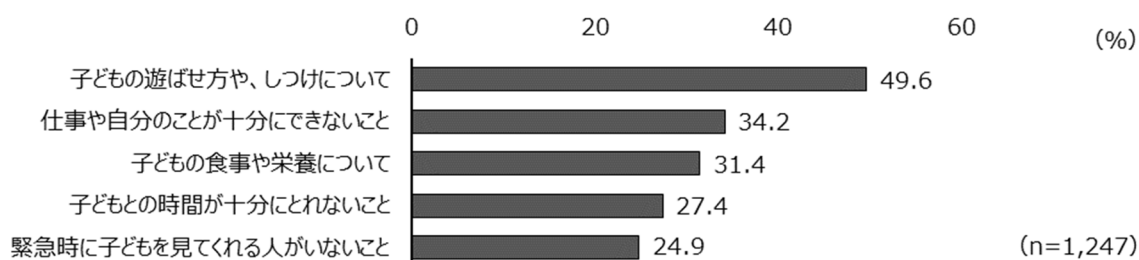
図表 10 子育てが辛いと思うことがあるか <経年比較> 【③中学生保護者】



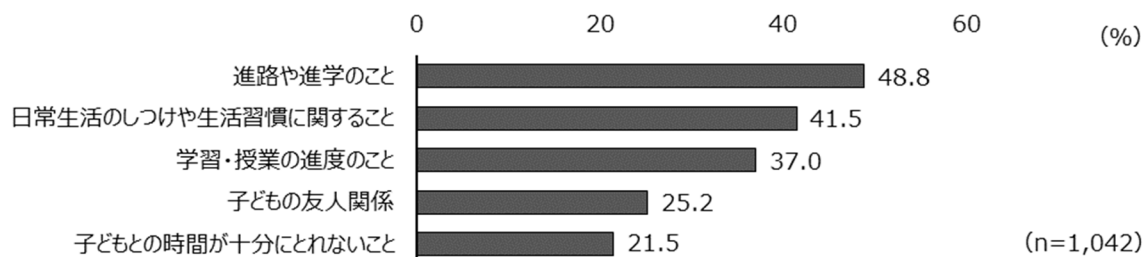
(5) 子育てに関して悩んでいること

子育てに関して悩んでいることは、就学前児童保護者では「子どもの遊ばせ方や、しつけについて」(49.6%)、小学生保護者では、「進路や進学のこと」(48.8%)、中学生保護者では、「進路や進学のこと」(61.0%)が最も高くなっています。

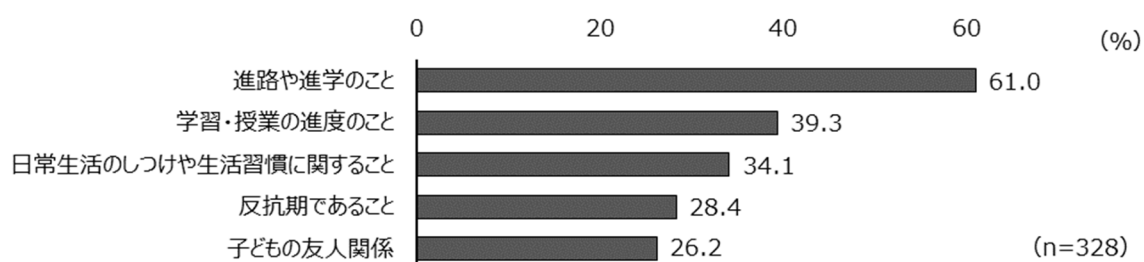
図表 11 子育てに関して悩んでいること（複数回答・上位5つ）【①就学前児童保護者】



図表 12 子育てに関して悩んでいること（複数回答・上位5つ）【②小学生保護者】



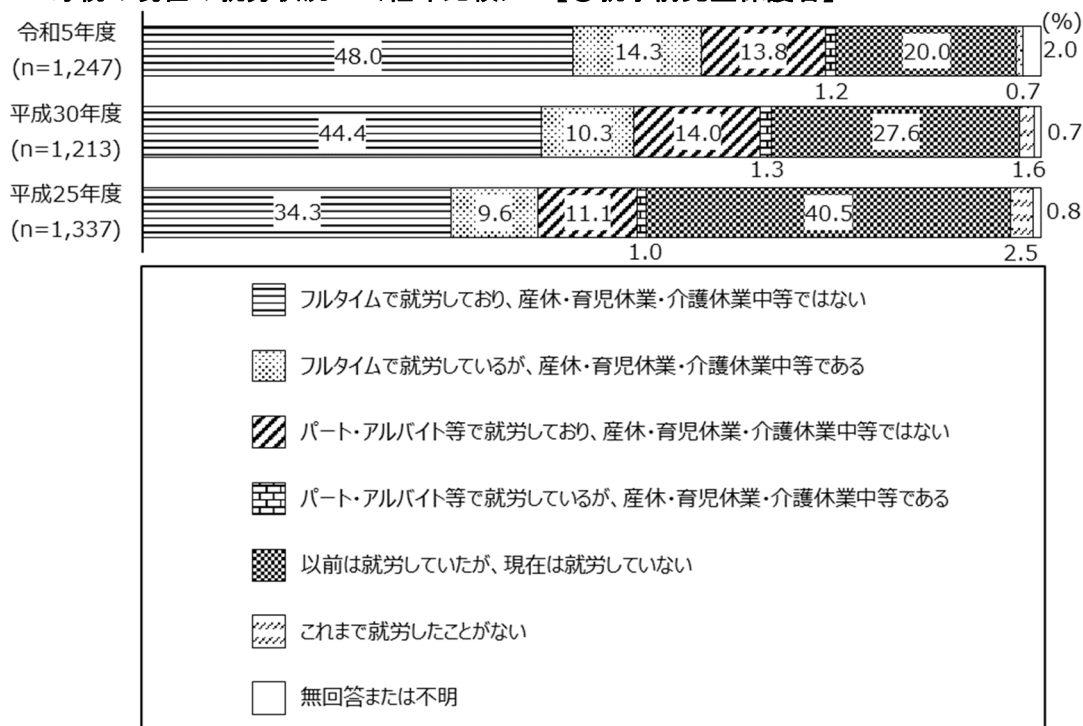
図表 13 子育てに関して悩んでいること（複数回答・上位5つ）【③中学生保護者】



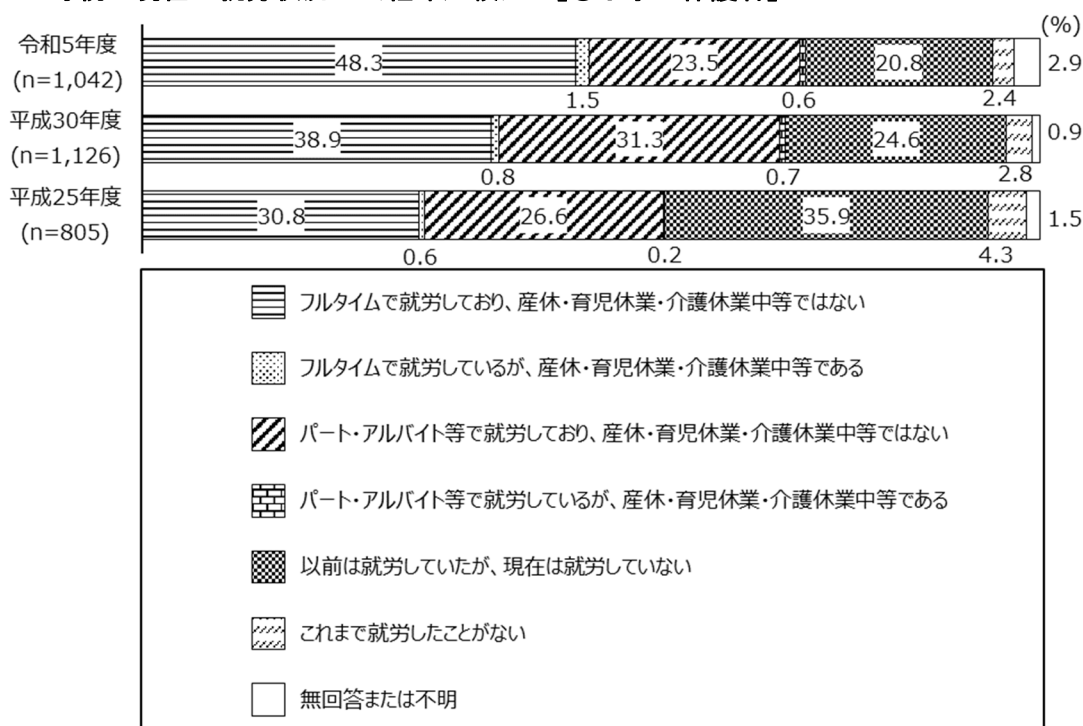
(6) 母親の就労状況

母親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育児休業・介護休業中等ではない」が就学前児童保護者で 48.0%、小学生保護者で 48.3%と最も高く、いずれも、前回、前々回調査と比較して増えています。

図表 14 母親の現在の就労状況 <経年比較> 【①就学前児童保護者】



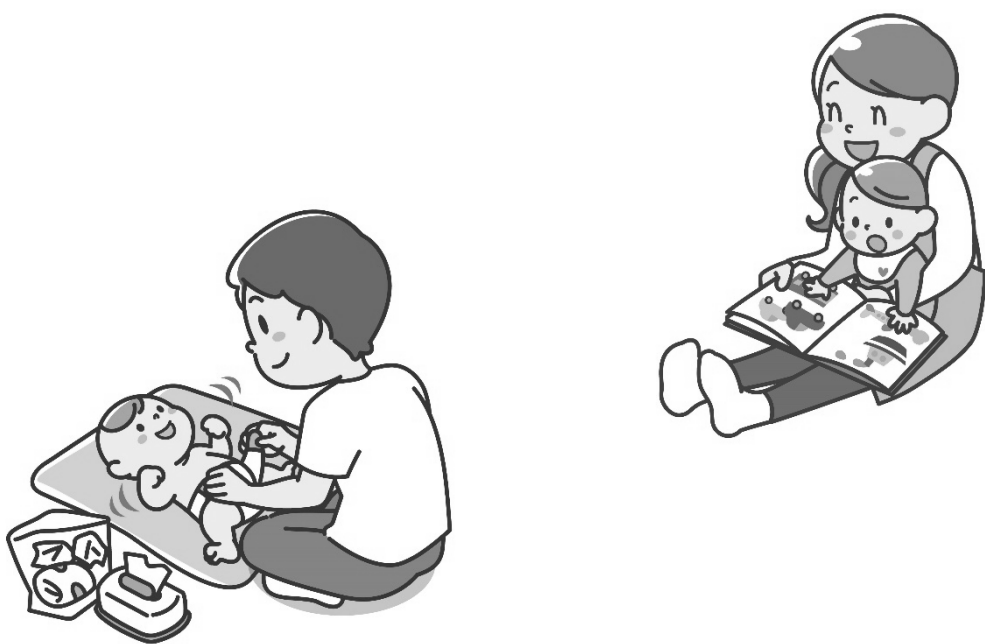
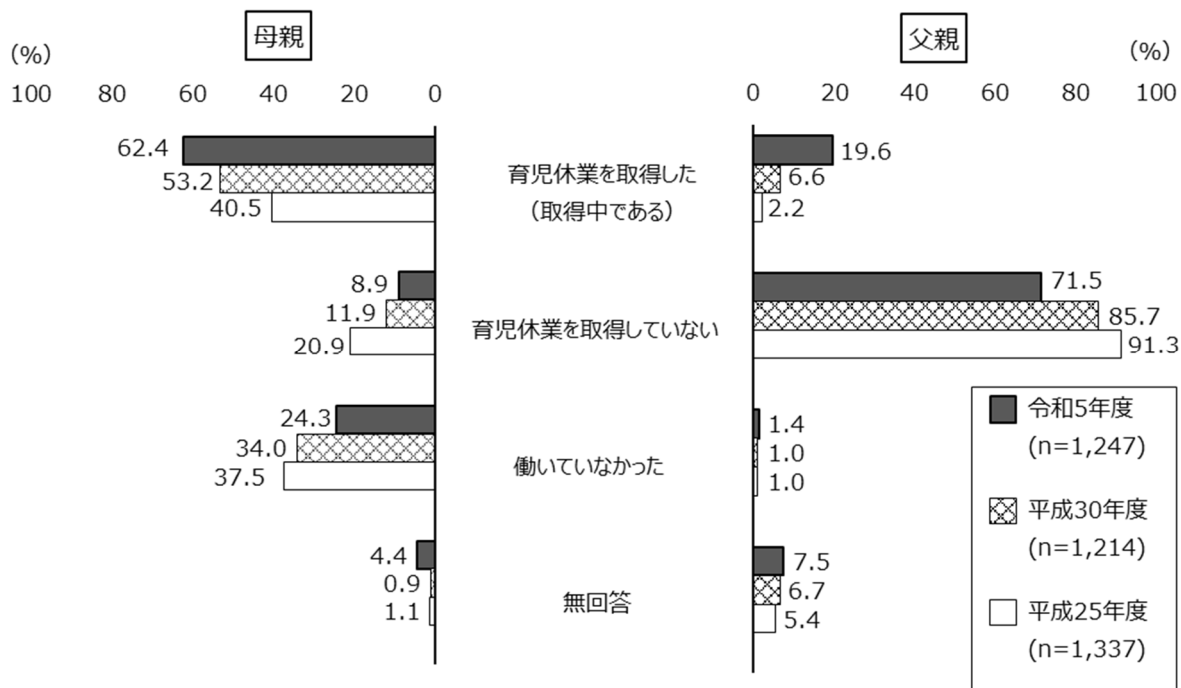
図表 15 母親の現在の就労状況 <経年比較> 【②小学生保護者】



(7) 育児休業の取得状況／育児休業を取得していない理由

育児休業の取得状況については、就学前児童保護者の母親では、「取得した（取得中である）」62.4%が最も多く、父親は「取得していない」71.5%が最も多くなっています。一方で、経年で比較すると、育児休業を取得した（取得中である）人は増加傾向であり、前々回調査と比較すると、母親で21.9ポイント、父親で17.4ポイント増加しています。

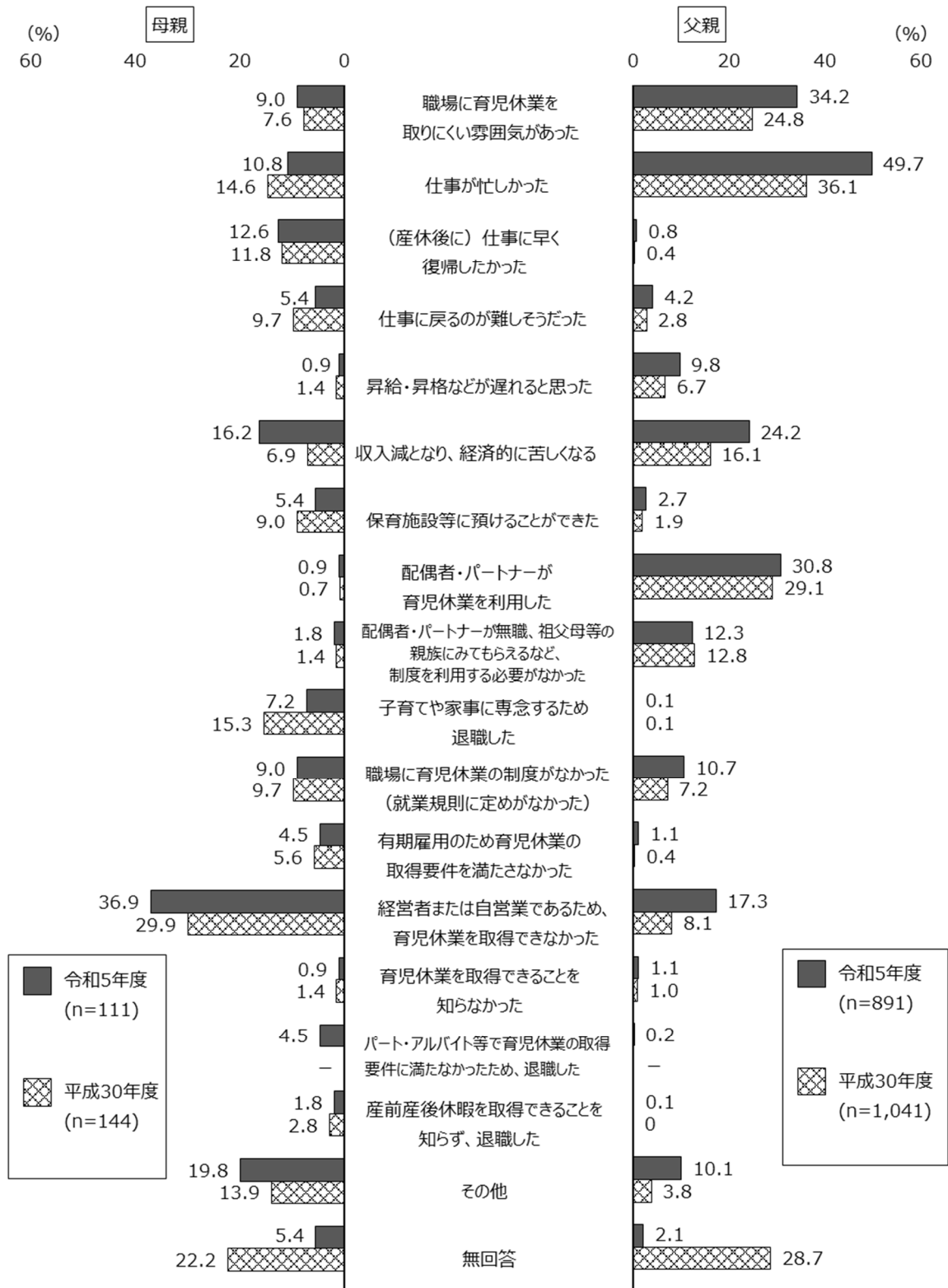
図表 16 育児休業取得状況 <経年比較><父母比較> 【①就学前児童保護者】



育児休業を取得していない理由は、母親は「経営者または自営業であるため、育児休業が取得できなかった」36.9%が最も多くなっています。また、父親は「仕事が忙しかった」49.7%が最も多くなっています。

図表 17 育児休業を取得していない理由〈経年比較〉〈父母比較〉

【①就学前児童保護者】

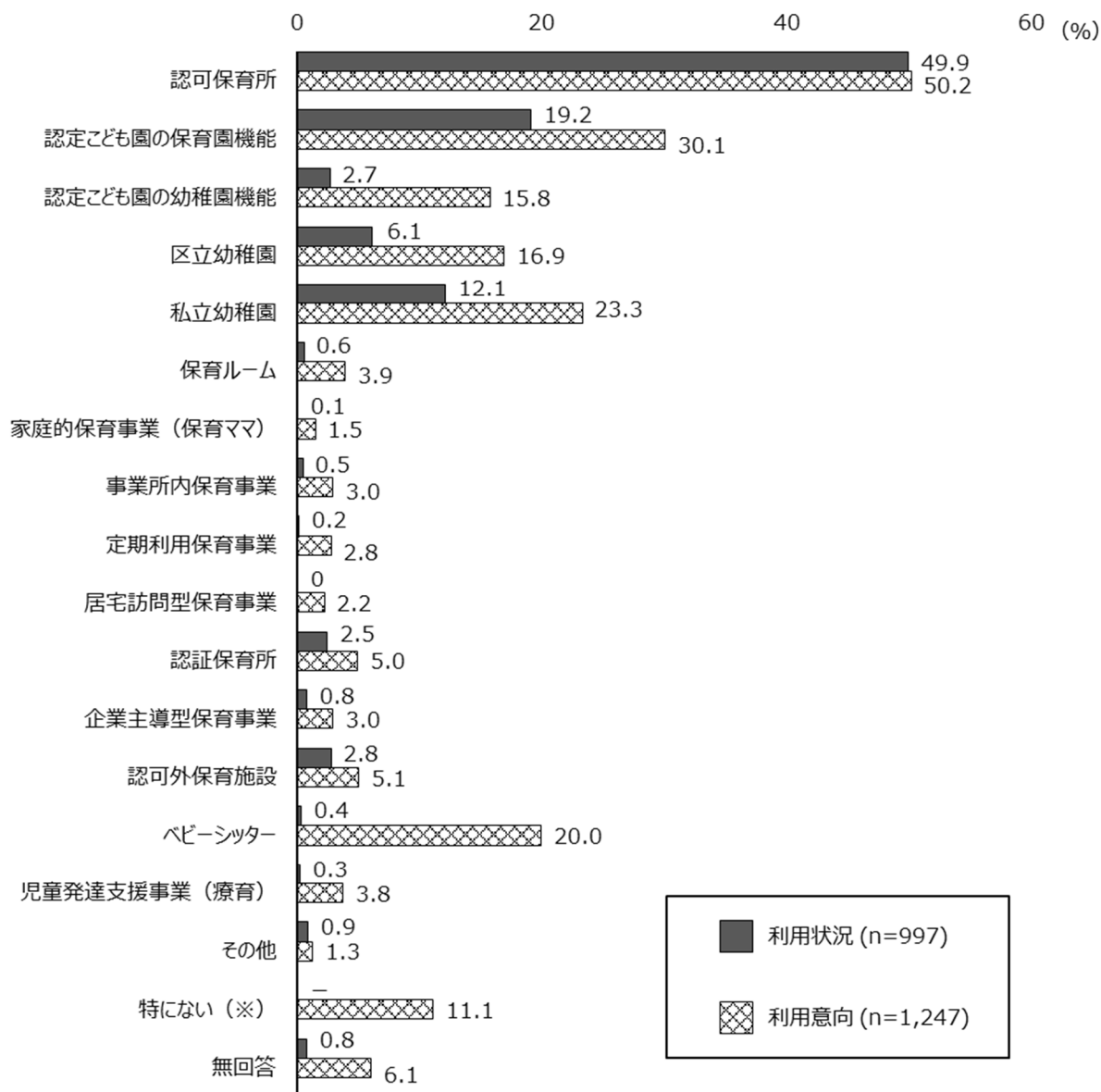


(8) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況及び利用意向

就学前児童保護者の平日の定期的な教育・保育事業利用状況については、「認可保育所」49.9%が最も多く、「認定こども園の保育園機能」19.2%、「私立幼稚園」12.1%が続いています。また、利用意向については、「認可保育所」50.2%が最も多く、「認定こども園の保育園機能」30.1%、「私立幼稚園」23.3%が続いています。

図表 18 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況及び利用意向 (複数回答)

【①就学前児童保護者】

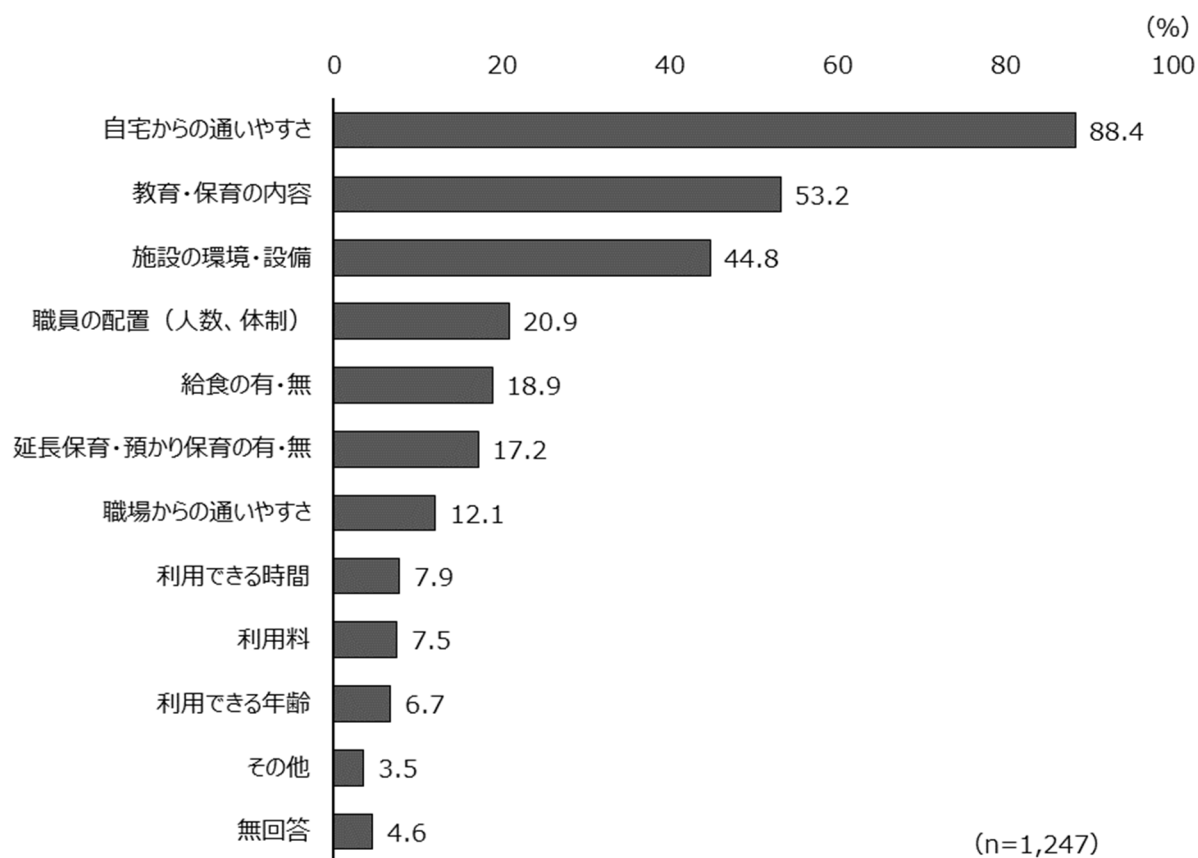


(※) 「特にない」の選択肢は利用意向のみ

(9) 利用する事業を選択する際に考慮する点

認可保育所、認定こども園、幼稚園等を選択する際に考慮する点については、「自宅からの通いやすさ」88.4%が最も高く、「教育・保育の内容」53.2%、「施設的环境・設備」44.8%と続いています。

図表 19 認可保育所、認定こども園、幼稚園等を選択する際に考慮する点（3つまで）
【①就学前児童保護者】

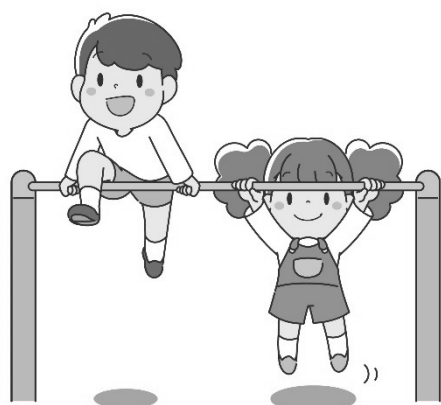
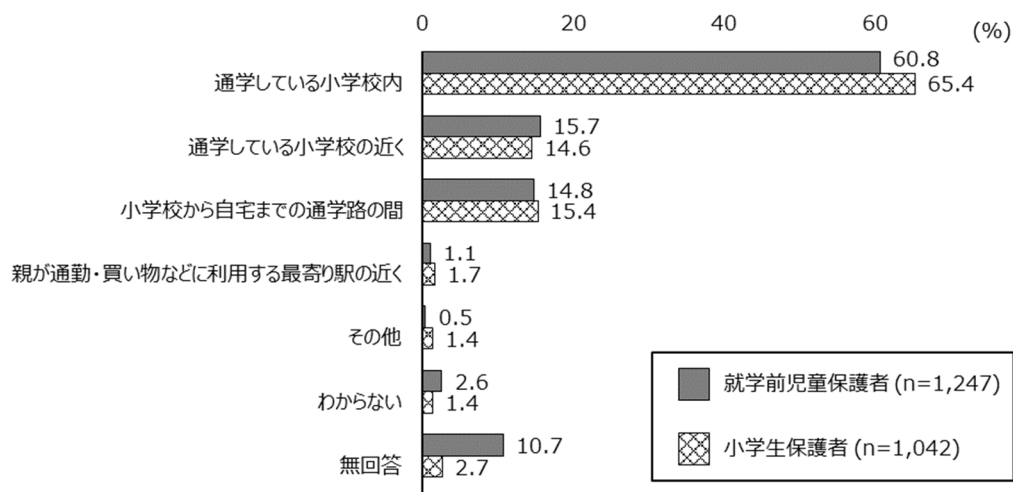


(10) 放課後の居場所の希望

小学生の放課後の居場所の希望については、「通学している小学校内」が、就学前児童保護者で60.8%、小学生保護者で65.4%と最も高くなっています。

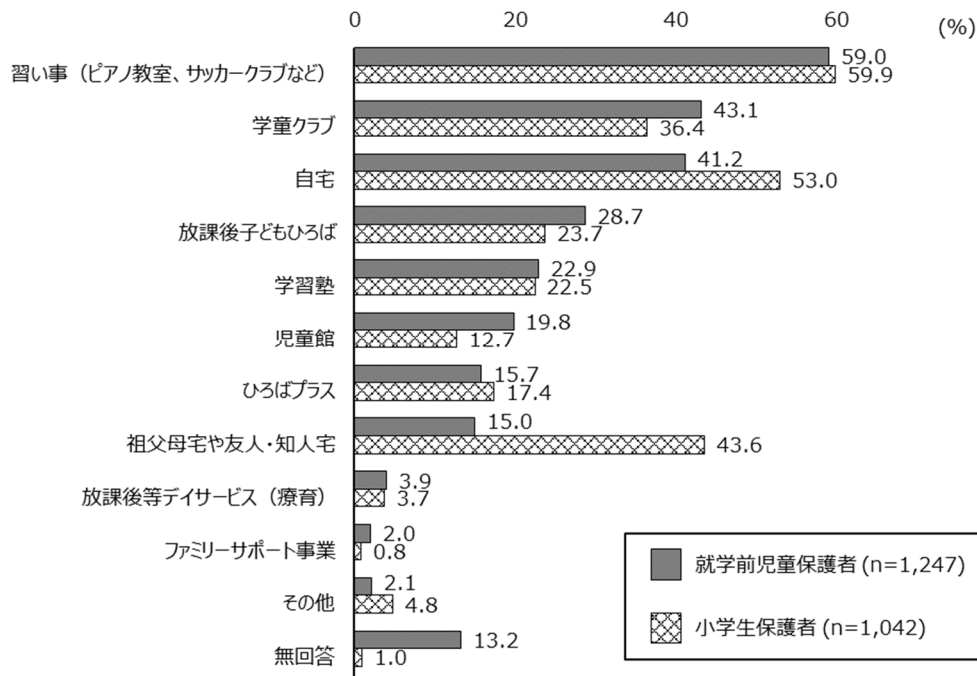
図表 20 小学生の放課後の居場所はどこにあると利用しやすいか

【①就学前児童保護者・②小学生保護者】



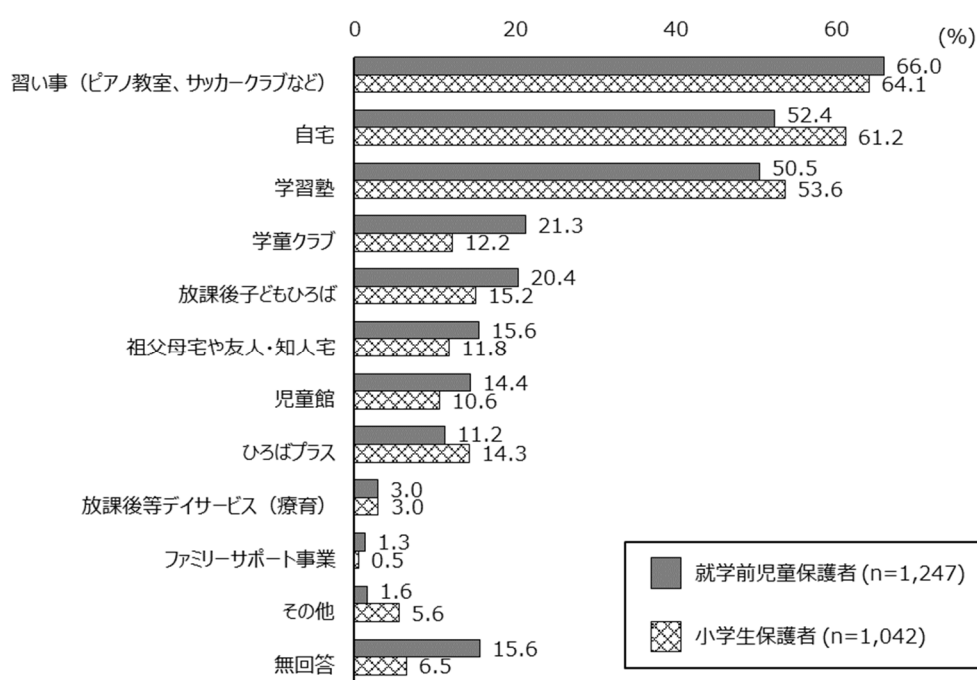
保護者が望む小学校低学年（1～3年生）のときの放課後を過ごす場所は、「習い事」が就学前児童保護者で59.0%、小学生保護者で59.9%と最も多くなっています。

図表 21 小学校低学年（1～3年）のときに、放課後を過ごさせたい場所（複数回答）
【①就学前児童保護者・②小学生保護者】



保護者が望む小学校高学年（4～6年生）のときの放課後を過ごす場所は、「習い事」が就学前児童保護者で66.0%、小学生保護者で64.1%と最も多くなっています。

図表 22 小学校高学年（4～6年）のときに、放課後を過ごさせたい場所（複数回答）
【①就学前児童保護者・②小学生保護者】



(11) 子育て支援事業の認知度・利用状況・利用希望

区が実施している子育て支援事業の認知度について、「ファミリーサポート事業」が就学前児童保護者で69.6%、小学生保護者で72.5%、中学生保護者で64.3%と最も高くなっています。

利用したことがある割合が高い事業は、就学前児童保護者では「保健センターの情報・相談事業」23.8%、小学生保護者では「保健センターの健康・育児相談」17.5%、中学生保護者では「ファミリーサポート事業」17.4%が最も高くなっています。

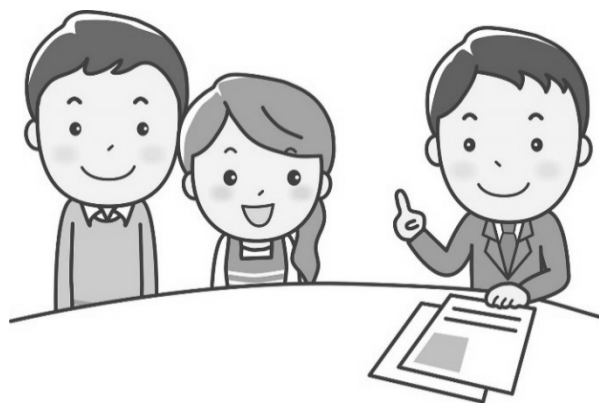
子育て支援事業の中で最も「今後利用したい」の割合が高いのは、就学前児童保護者では「認可保育所、幼稚園、認定こども園の子育て相談、園庭開放」44.2%、小学生保護者では「ファミリーサポート事業」25.1%、中学生保護者では「就学援助」26.5%が最も高くなっています。

図表 23 子育て支援事業の認知度・利用状況・利用希望 【①就学前児童保護者】

(%)

就学前児童保護者 n=1,247	知っている			これまでに 利用したことがある			今後利用したい		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
産後ケア事業（ショートステイ型・デイサービス型・アウトリーチ型）	56.3	32.2	11.5	5.6	76.9	17.5	24.9	56.6	18.4
育児支援家庭訪問（産前産後支援ヘルパー・産後ドゥーラの派遣）	55.2	32.9	11.9	12.3	70.1	17.6	23.1	58.1	18.8
ホームスタート（家庭訪問型子育て支援）	38.3	49.6	12.2	4.7	76.7	18.6	17.2	63.4	19.4
ファミリーサポート事業	69.6	18.8	11.5	11.6	71.3	17.1	34.3	47.6	18.0
ベビーシッター利用支援事業	63.2	25.2	11.6	9.9	73.7	16.4	39.9	43.1	16.9
保健センターの情報・相談事業	64.0	23.7	12.3	23.8	59.0	17.2	33.3	48.0	18.7
子ども総合センター、子ども家庭支援センターの情報・相談事業	56.7	30.3	13.0	19.6	63.7	16.7	33.8	47.9	18.3
児童館、地域子育て支援センターの情報・相談事業	62.1	25.7	12.3	23.1	60.3	16.6	37.7	43.5	18.8
認可保育所、幼稚園、認定こども園の子育て相談、園庭開放	62.9	25.7	11.4	22.7	60.2	17.1	44.2	38.3	17.6
子ども総合センター、子ども家庭支援センター、児童館の幼児サークル	50.8	36.7	12.4	19.6	63.3	17.2	32.8	49.1	18.1
ゆたりの、子ども家庭支援センターでの子育て講座	34.2	53.5	12.3	9.5	72.5	18.0	21.7	59.7	18.6

※ 網掛けは、「はい」と「いいえ」それぞれ上位第3位まで。



図表 24 子育て支援事業の認知度・利用状況・利用希望 【②小学生保護者】

(%)

小学生保護者 n=1,042	知っている			これまでに 利用したことがある			今後利用したい		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
就学援助	53.9	38.6	7.5	9.1	79.8	11.0	23.2	62.5	14.3
新宿区ファミリーサポート	72.5	20.2	7.4	16.6	73.8	9.6	25.1	61.5	13.3
トワイライトステイ	20.9	71.1	8.0	0.4	87.0	12.6	8.3	75.6	16.1
子どもショートステイ	35.3	56.6	8.1	1.3	86.3	12.4	11.2	73.2	15.5
教育相談	43.1	48.8	8.2	7.2	80.1	12.7	24.2	60.0	15.8
子ども総合センター、子ども家庭支援センターの相談	61.3	30.6	8.1	15.9	72.6	11.5	22.2	62.7	15.2
生活支援相談窓口	36.8	55.0	8.3	0.9	86.1	13.1	9.2	74.4	16.4
ひとり親相談	36.3	55.2	8.5	1.3	85.2	13.4	6.0	77.3	16.8
保健センターの健康・育児相談	58.6	32.8	8.5	17.5	70.0	12.6	19.3	64.8	15.9
住宅相談（住み替え相談）	15.0	76.7	8.3	1.1	85.6	13.3	18.2	65.7	16.0

※ 網掛けは、「はい」と「いいえ」それぞれ上位第3位まで。

図表 25 子育て支援事業の認知度・利用状況・利用希望 【⑥中学生保護者】

(%)

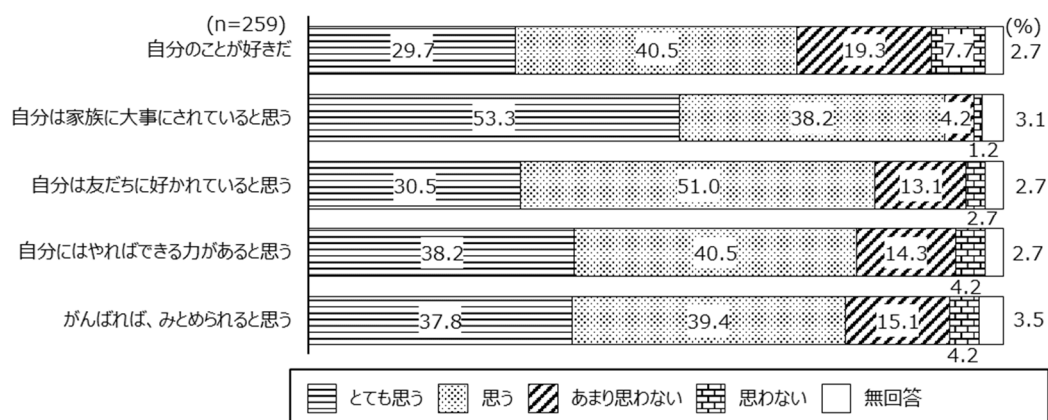
中学生保護者 n=328	知っている			これまでに 利用したことがある			今後利用したい		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
就学援助	62.5	30.2	7.3	11.3	76.8	11.9	26.5	59.5	14.0
新宿区ファミリーサポート	64.3	28.4	7.3	17.4	72.0	10.7	15.5	68.0	16.5
受験生チャレンジ支援貸付事業	28.7	63.7	7.6	1.8	85.1	13.1	26.2	57.6	16.2
奨学資金の貸付	48.5	44.2	7.3	1.5	86.0	12.5	24.4	60.1	15.5
高等学校等への進学補助（島田育英基金）	21.3	71.3	7.3	0	86.9	13.1	23.2	61.0	15.9
教育相談	40.2	52.4	7.3	8.8	78.4	12.8	25.0	58.8	16.2
子ども総合センター、子ども家庭支援センターの相談	58.8	34.1	7.0	14.3	73.2	12.5	18.3	65.2	16.5
生活支援相談窓口	41.5	50.9	7.6	2.1	85.4	12.5	7.9	75.3	16.8
ひとり親相談	42.4	49.4	8.2	3.7	82.9	13.4	7.6	75.9	16.5
保健センターの健康・育児相談	56.7	35.4	7.9	14.3	72.0	13.7	14.3	68.6	17.1
住宅相談（住み替え相談）	18.0	74.1	7.9	0.6	86.0	13.4	15.9	67.4	16.8

※ 網掛けは、「はい」と「いいえ」それぞれ上位第3位まで。

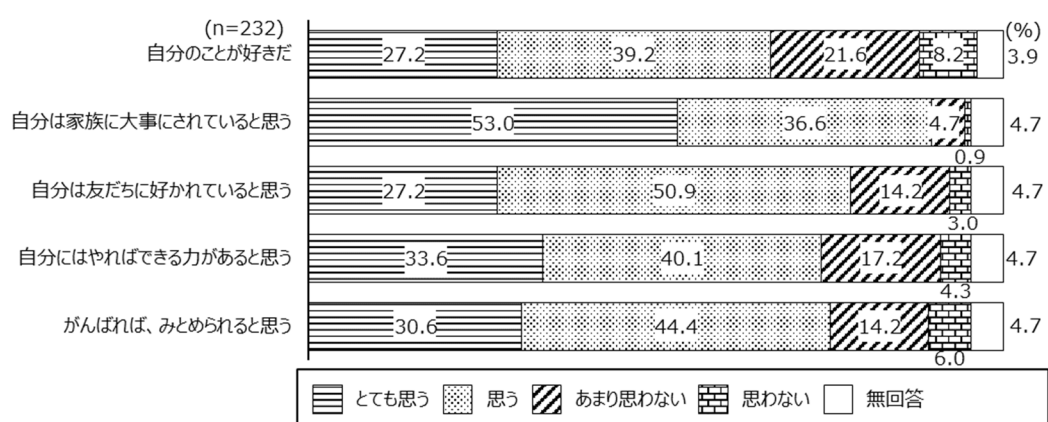
(12) 自己肯定感

自己肯定感に関する5つの項目の内、「自分のことが好きだ」に対して、「とても思う」と「思う」の合計は、小学校5・6年生は70.2%、中学生と青少年はともに66.4%となっています。他の4つの項目では、「とても思う」と「思う」の合計は、青少年が最も高く、小学校5・6年生、中学生の順番で低くなっています。

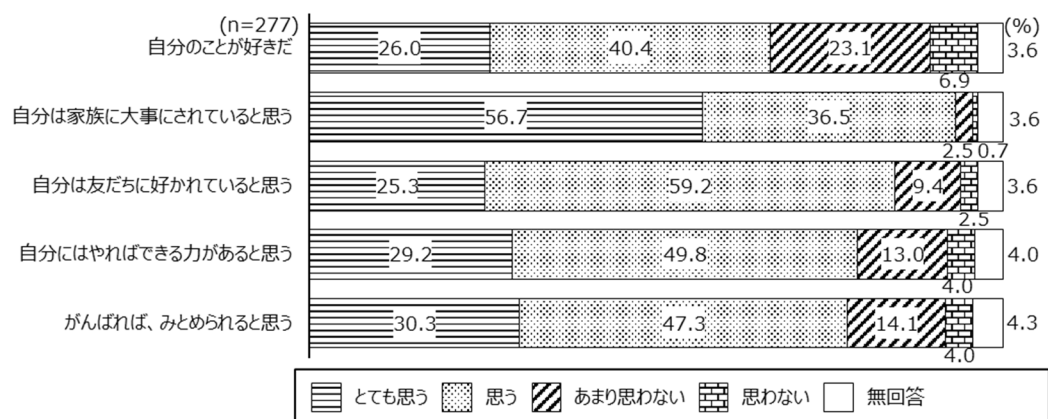
図表 26 自分についてどう思っているか【③小学校5・6年生】



図表 27 自分についてどう思っているか【⑤中学生】



図表 28 自分についてどう思っているか【⑦青少年】

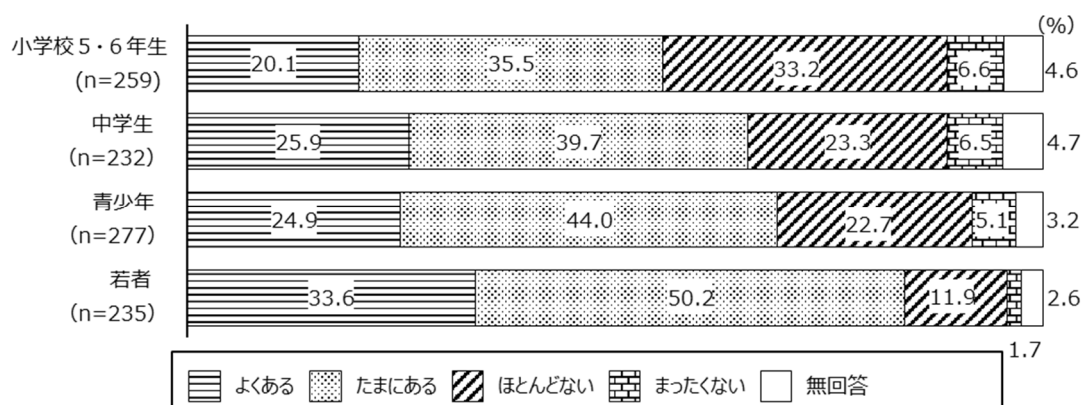


(13) 悩んだり困ったりすることについて

悩んだり、困ったりすることはあるかについては、小学校5・6年生、中学生、青少年、若者のすべてにおいて、「たまにある」が最も多くなっています。どんなことに悩んだりするかについては、小学校5・6年生と中学生は「勉強について」が最も多くなっています。

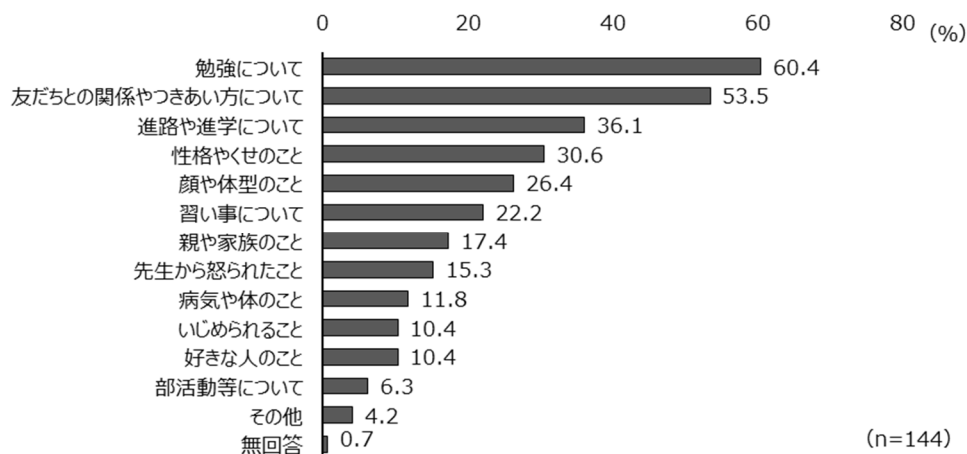
図表 29 悩んだり、困ったりすることがあるか

【③小学校5・6年生・⑤中学生・⑦青少年・⑧若者】

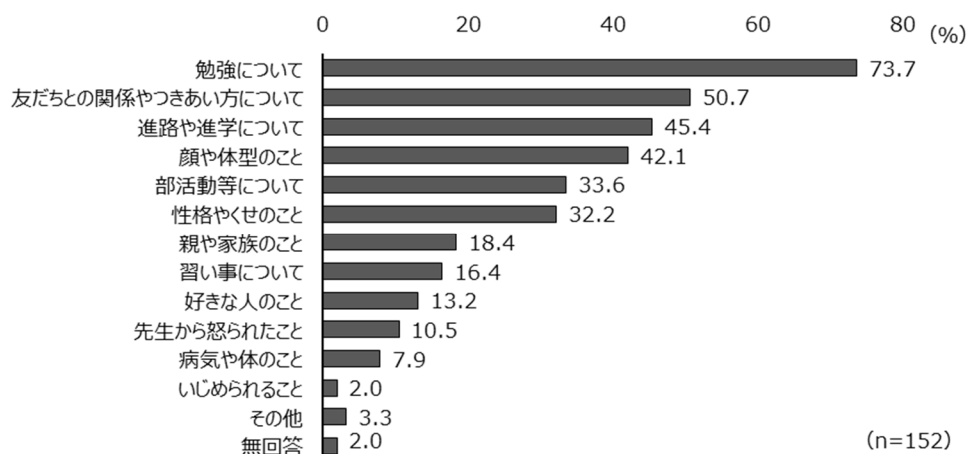


図表 30 どのようなことで悩んだり、困ったりすることがあるか（複数回答）

【③小学校5・6年生】

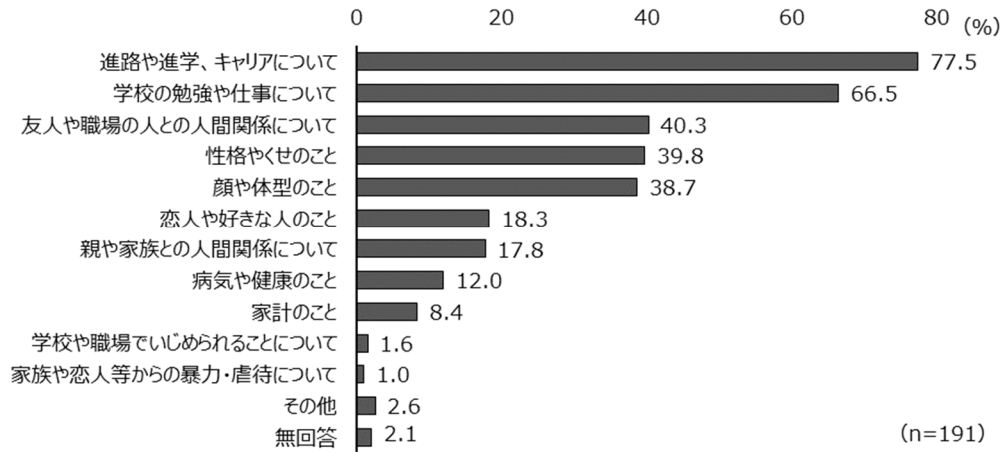


図表 31 どのようなことで悩んだり、困ったりすることがあるか（複数回答）【⑤中学生】

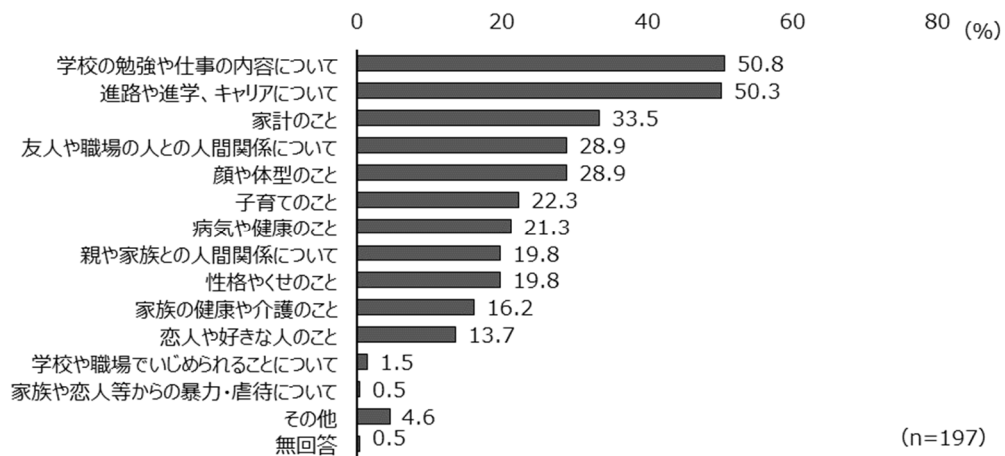


青少年では「進路や進学、キャリアについて」、若者では「学校の勉強や仕事の内容について」が最も多くなっています。

図表 32 どのようなことで悩んだり、困ったりすることがあるか（複数回答）【⑦青少年】



図表 33 どのようなことで悩んだり、困ったりすることがあるか（複数回答）【⑧若者】

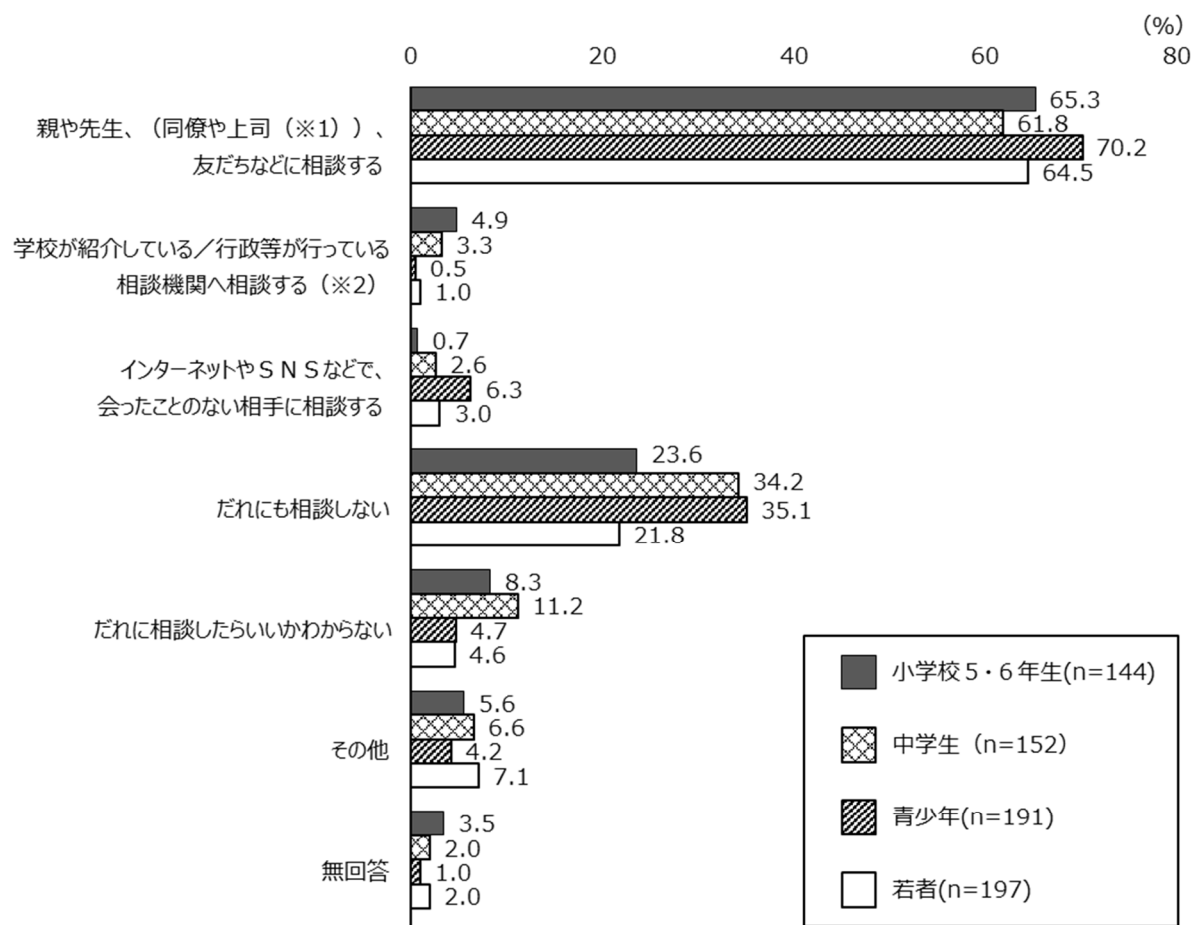


(14) 悩んだり困ったりしたときに相談するか

悩んだり、困ったりしたときに誰かに相談するかについては、小学校5・6年生(65.3%)、中学生(61.8%)、青少年(70.2%)、若者(64.5%)のいずれも、「親や先生、友だちなどに相談する」(青少年、若者は「親や先生、同僚や上司、友人などに相談する」)が最も多くなっています。また、いずれの年代においても、次に多い回答は「だれにも相談しない」となっています。

図表 34 悩んだり、困ったりしたときに誰かに相談するか(複数回答)

【③小学校5・6年生・⑤中学生・⑦青少年・⑧若者】



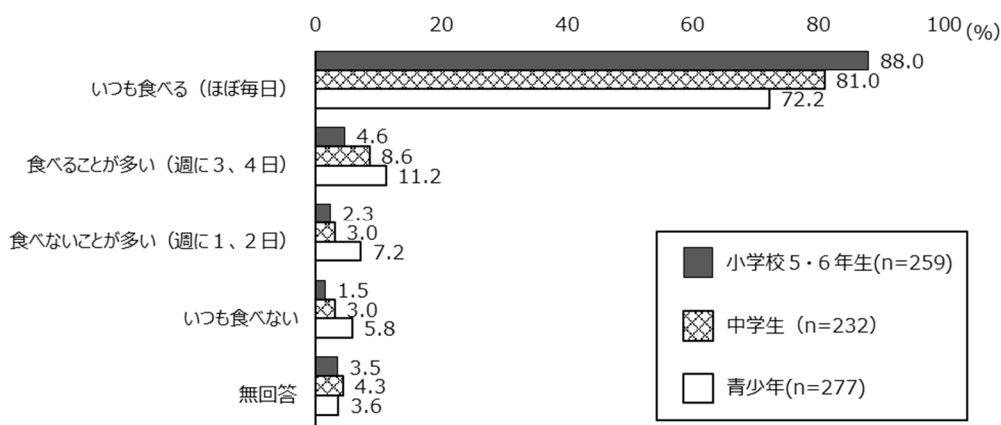
(※1) 青少年を対象とした調査票⑦、若者を対象とした調査票⑧では、「同僚や上司」の文言も含まれている。

(※2) 小学校5・6年生を対象とした調査票③、中学生を対象とした調査票⑤では、「学校で紹介している相談機関」、調査票⑦及び⑧では、「行政等が行っている相談機関」である。

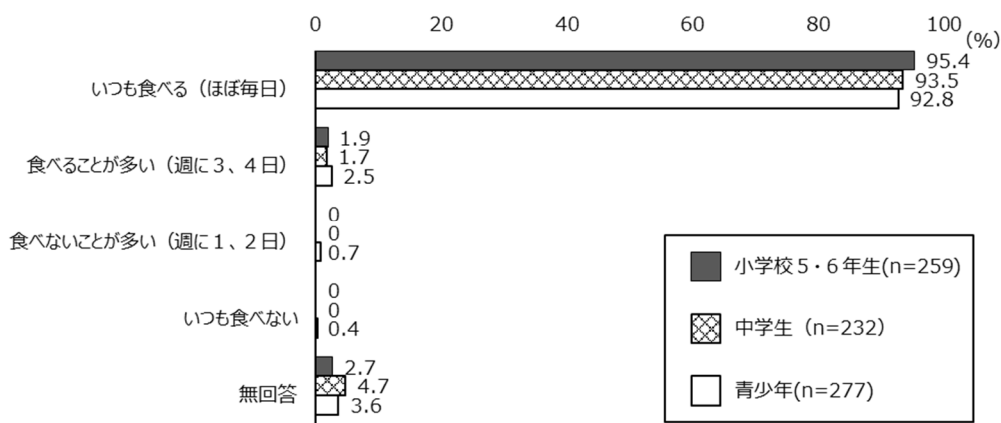
(15) 食事等の生活習慣の状況

学校がある平日の夕食の摂取状況に大きな差は見られませんが、朝食を「いつも食べる（ほぼ毎日）」割合は、小学校5・6年生で88.0%、中学生で81.0%、青少年で72.2%と年齢が上がるにつれて、減少傾向が見られます。長期休暇中の昼食についても、年齢が上がるにつれて「いつも食べる（ほぼ毎日）」割合は減少傾向です。

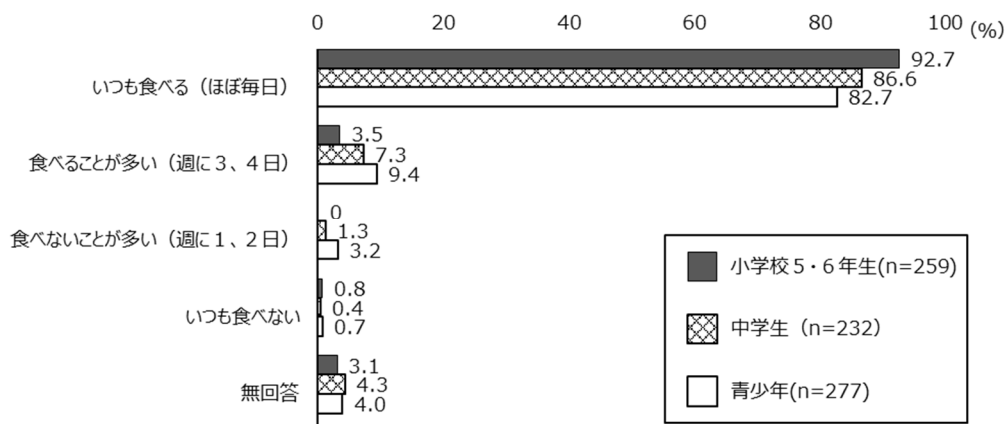
図表 35 学校がある平日の朝食を食べるか【③小学校5・6年生・⑤中学生・⑦青少年】



図表 36 学校がある平日の夕食を食べるか【③小学校5・6年生・⑤中学生・⑦青少年】



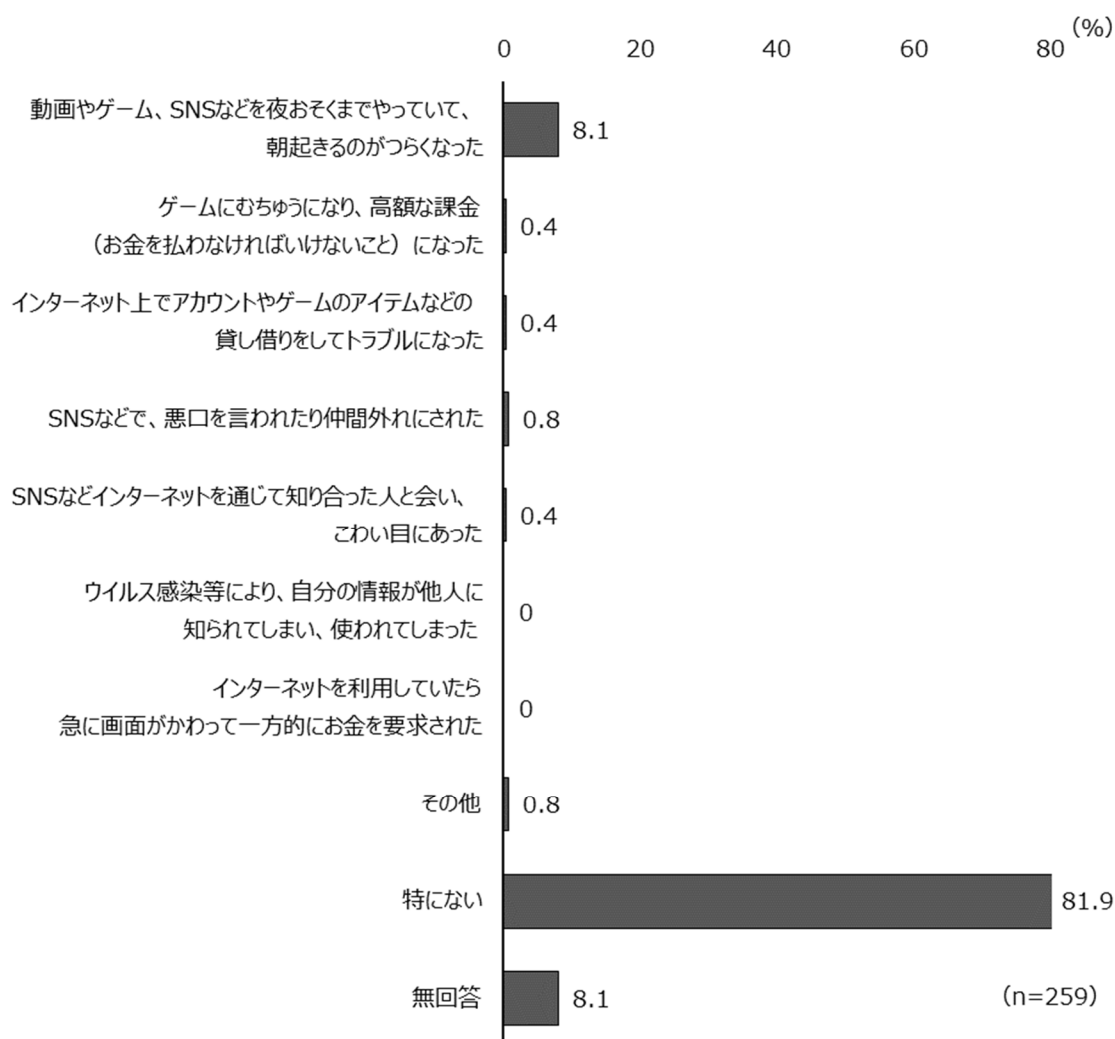
図表 37 長期休暇中の昼食を食べるか【③小学校5・6年生・⑤中学生・⑦青少年】



(16) インターネットの利用に関すること

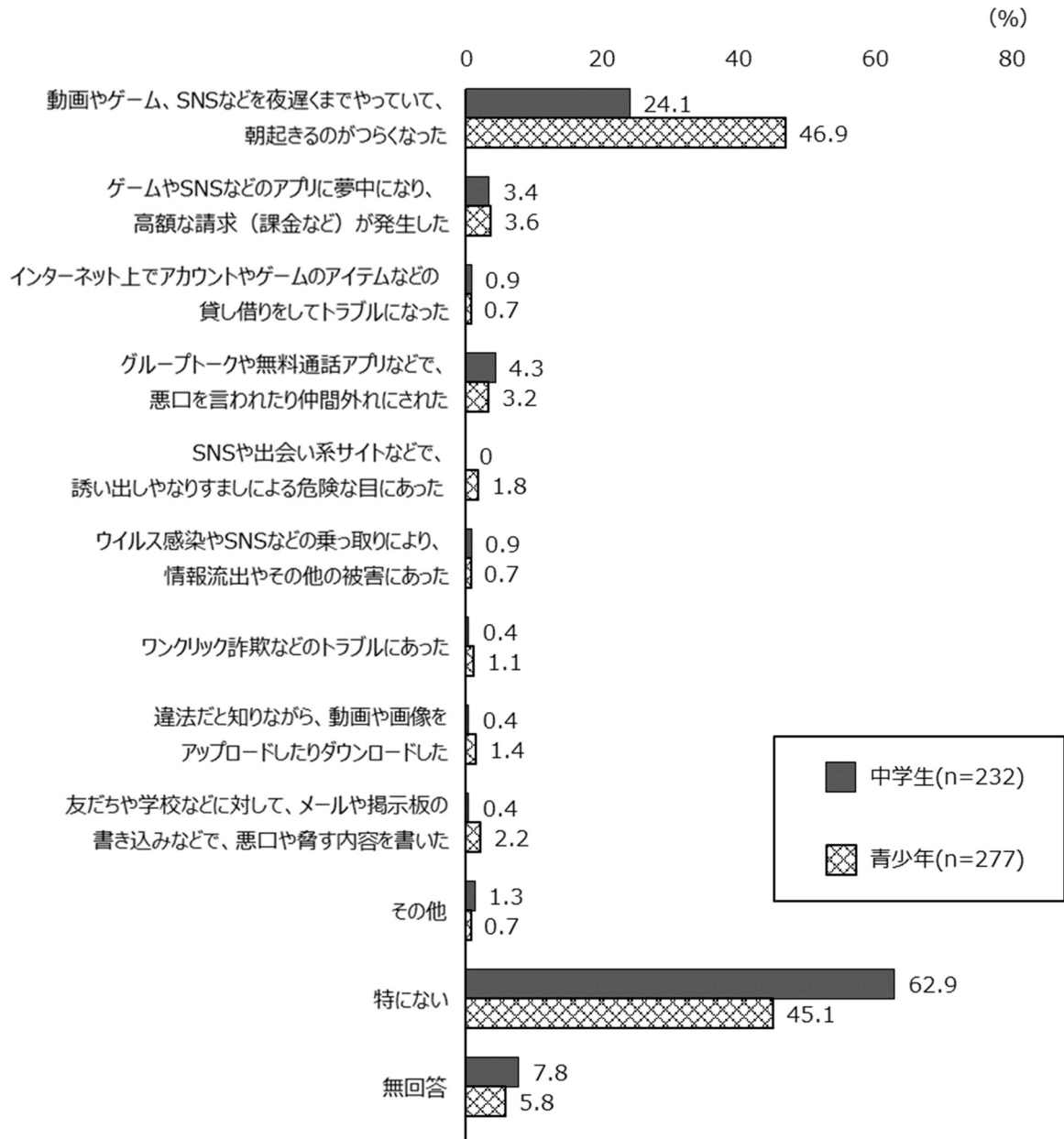
インターネットを利用して経験したことについて、小学校5・6年生では、「特にない」が81.9%と最も多く、「動画やゲーム、SNSなどを夜遅くまでやっていて、朝起きるのがつらくなった」(8.1%) が次に多くなっています。

図表 38 インターネットの利用に関すること（複数回答）【⑤小学校5・6年生】



インターネットを利用して経験したことについて、中学生では、「特にない」が62.9%と最も多く、「動画やゲーム、SNSなどを夜遅くまでやっていて、朝起きるのがつらくなった」(24.1%)が次に多くなっています。青少年では、「動画やゲーム、SNSなどを夜遅くまでやっていて、朝起きるのがつらくなった」が46.9%と最も多く、「特にない」(45.1%)が次に多くなっています。

図表 39 インターネットの利用に関すること（複数回答）【⑤中学生・⑦青少年】

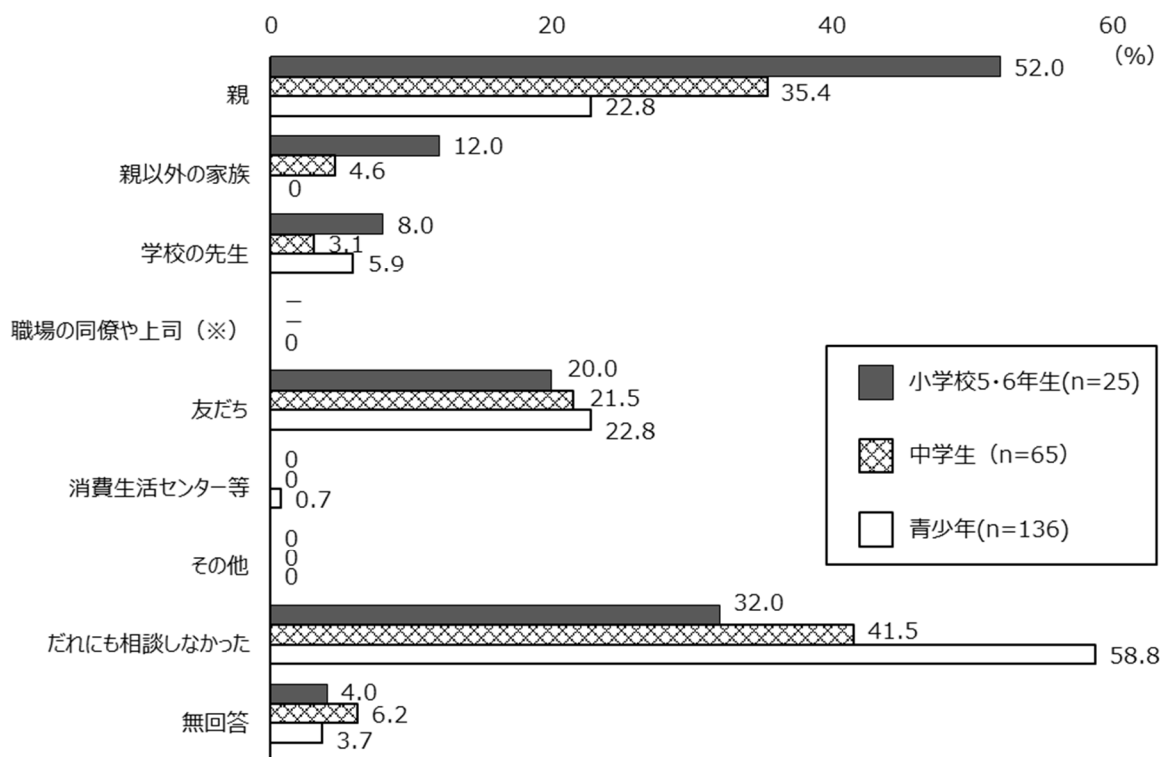


(17) インターネットの利用に関する相談相手

図表 38、39 のような経験をした時にだれか（どこか）に相談したかについては、小学校5・6年生では「親」52.0%が最も多く、中学生（41.5%）と青少年（58.8%）では、「だれにも相談しなかった」が最も多くなっています。

図表 40 その時にだれか（どこか）に相談したか（複数回答）

【③小学校5・6年生・⑤中学生・⑦青少年】



(※) 青少年を対象とした調査票⑦においてのみ本選択肢あり。



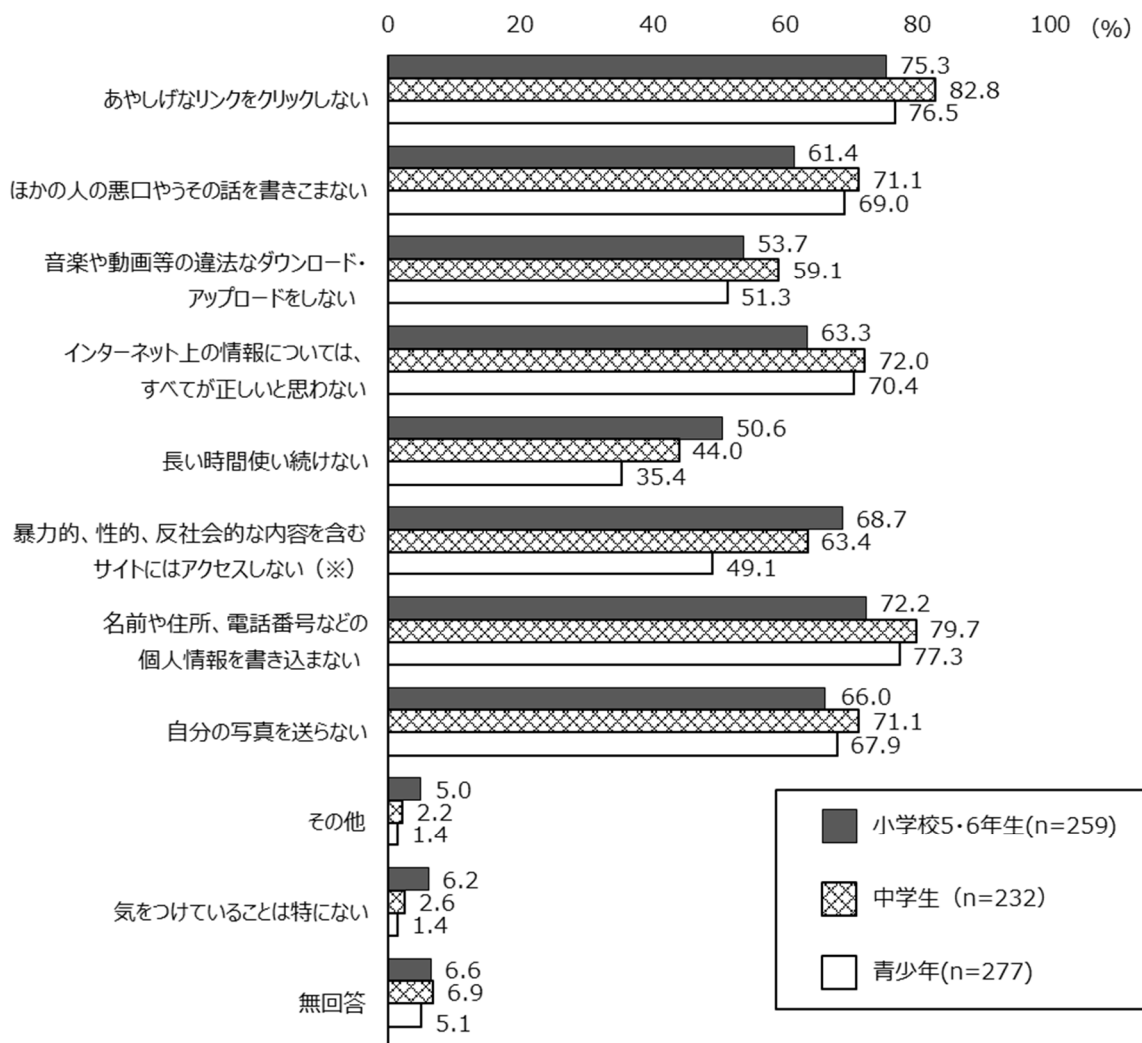
(18) インターネットの利用で気をつけていること／気をつけるよう教えていること

インターネットを使うときに気をつけていることは、小学校5・6年生(75.3%)と中学生(82.8%)では、「あやしげなリンクをクリックしない」が最も多く、「名前や住所、電話番号などの個人情報を書き込まない」がそれぞれ72.2%、79.7%と続いています。

青少年においても、「名前や住所、電話番号などの個人情報を書き込まない」77.3%、「あやしげなリンクをクリックしない」76.5%と、気をつけていることの上位2つは小学校5・6年生や中学生と同じ項目になります。

図表 41 インターネットを使うときに気をつけていること（複数回答）

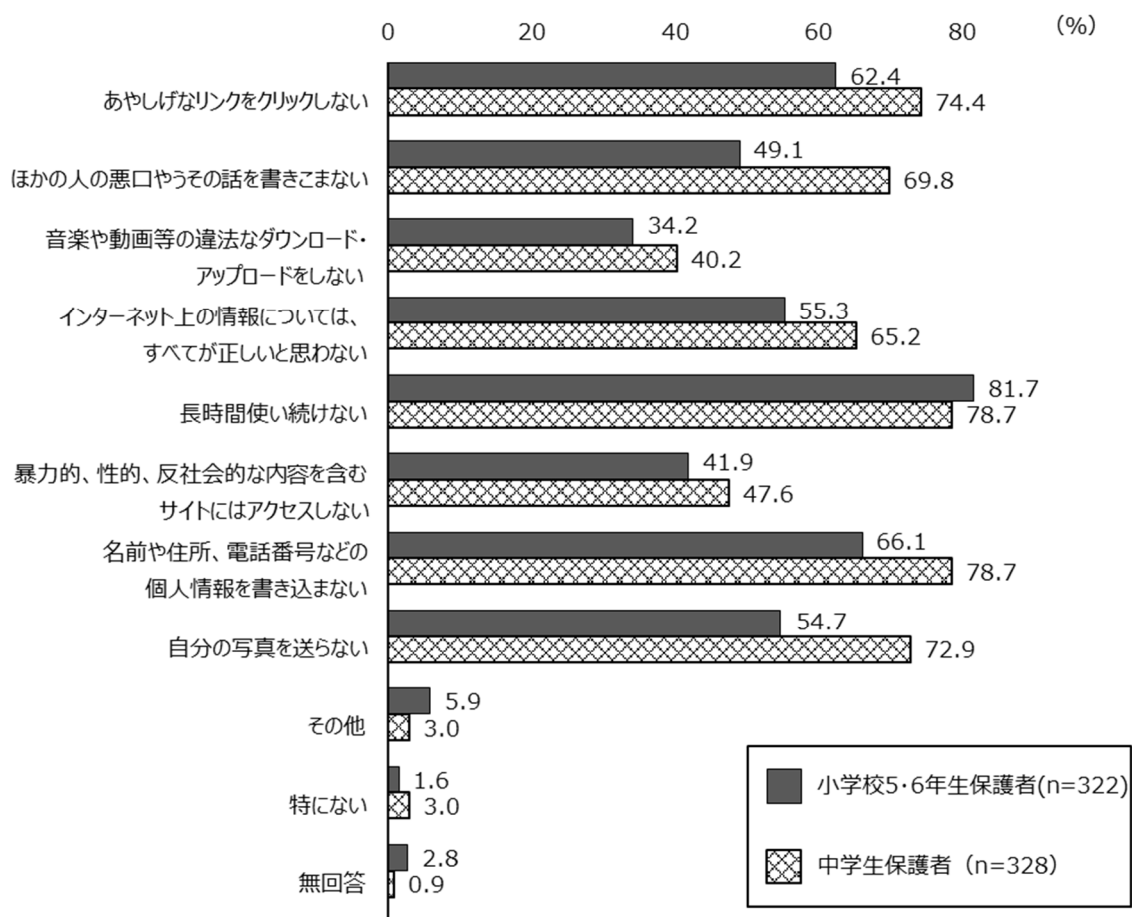
【③小学校5・6年生・⑤中学生・⑦青少年】



(※) 小学校5・6年生を対象とした調査票③では、本選択肢は「犯罪行為や犯罪に巻き込まれるようなサイトにはアクセスしない」である。

インターネットを使うときに気をつけるよう教えていることは、小学校5・6年生保護者（81.7%）と中学生保護者（78.7%）の両方において、「長時間使い続けられない」が最も多く、中学生保護者では同率第1位で、小学校5・6年生保護者（66.1%）では第2位で、「名前や住所、電話番号などの個人情報を書き込まない」と回答した人が多くなっています。

図表 42 インターネットを使うときに気をつけるよう教えていること（複数回答）
【④小学校5・6年生保護者・⑥中学生保護者】

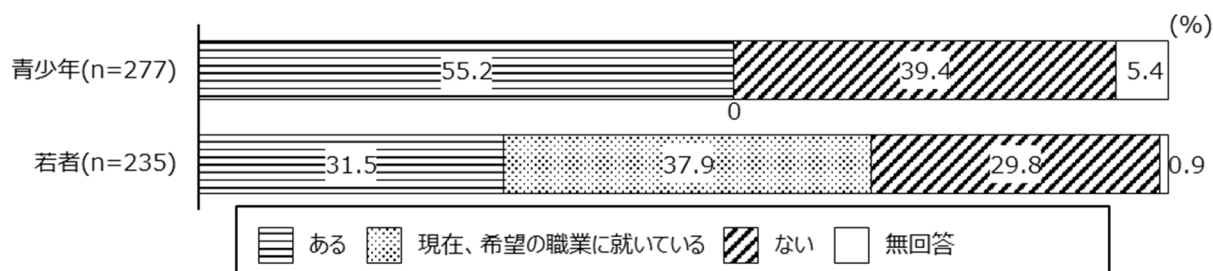


(19) 希望の職業について

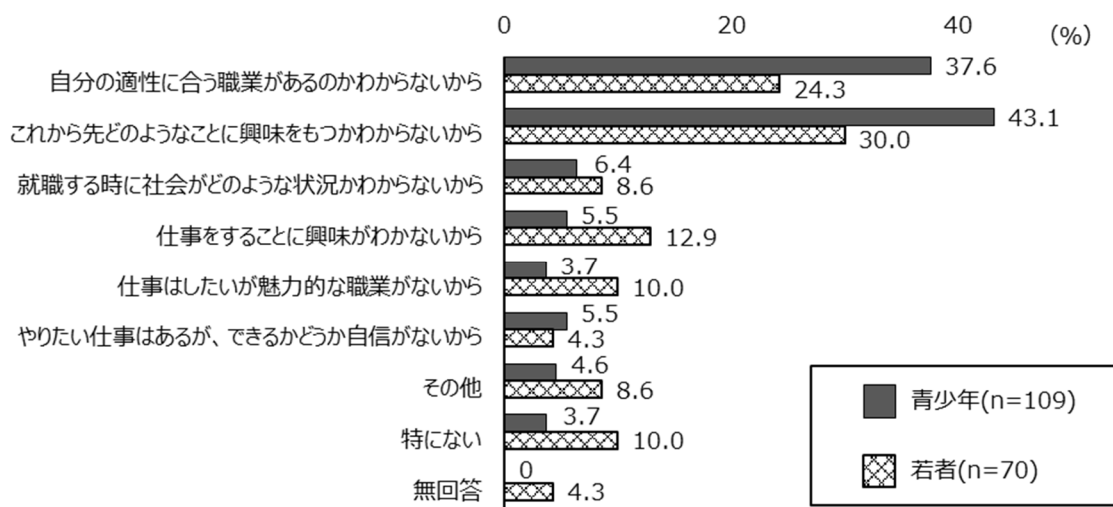
将来就きたい職業があるかについて、青少年で「ない」と回答した割合は 39.4%であり、若者では 29.8%となっています。

将来就きたい職業がない理由は、青少年 (43.1%) と若者 (30.0%) 両方において、「これから先どのようなことに興味をもつかわからないから」が最も多く、「自分の適性に合う職業があるのかわからないから」が続いています。

図表 43 将来就きたい職業があるか 【⑦青少年・⑧若者】



図表 44 将来就きたい職業がない理由 【⑦青少年・⑧若者】

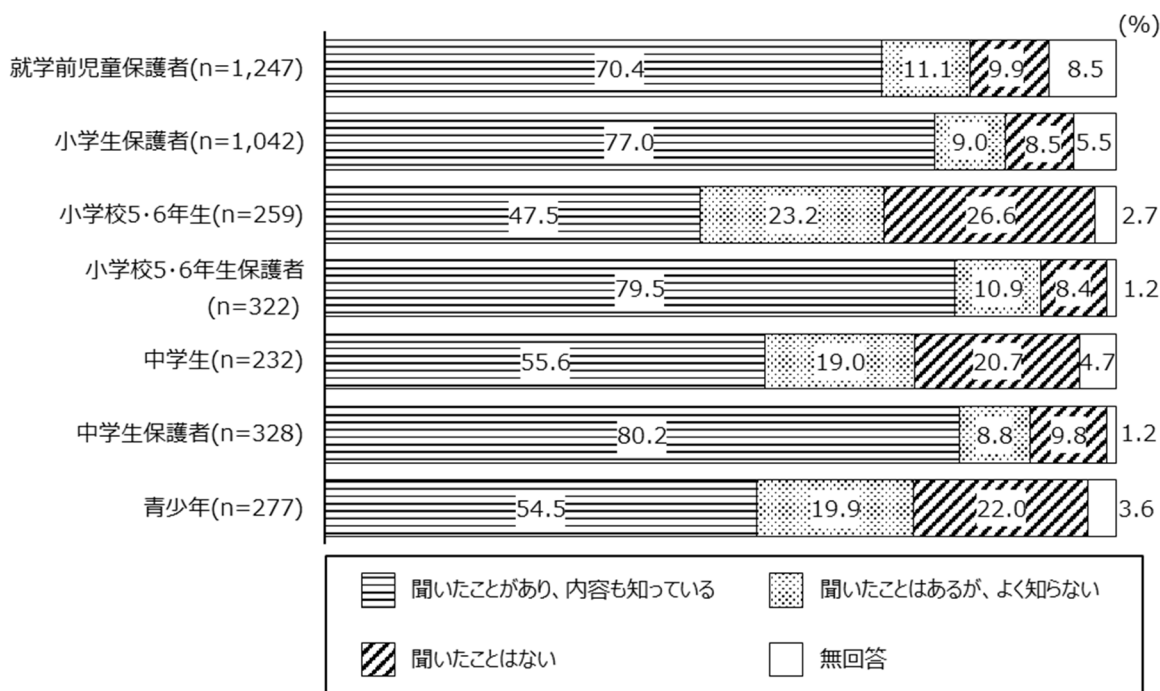


(20) ヤングケアラーについて

「ヤングケアラー」という言葉の認知度は、小学校5・6年生、中学生、青少年の子どもにおいては、47.5%～55.6%と約半数ですが、就学前児童保護者、小学生保護者、小学校5・6年生保護者、中学生保護者の大人では、70.4%～80.2%が「聞いたことがあり、内容も知っている」と回答しています。

図表 45 ヤングケアラーという言葉をこれまでに聞いたことがあるか

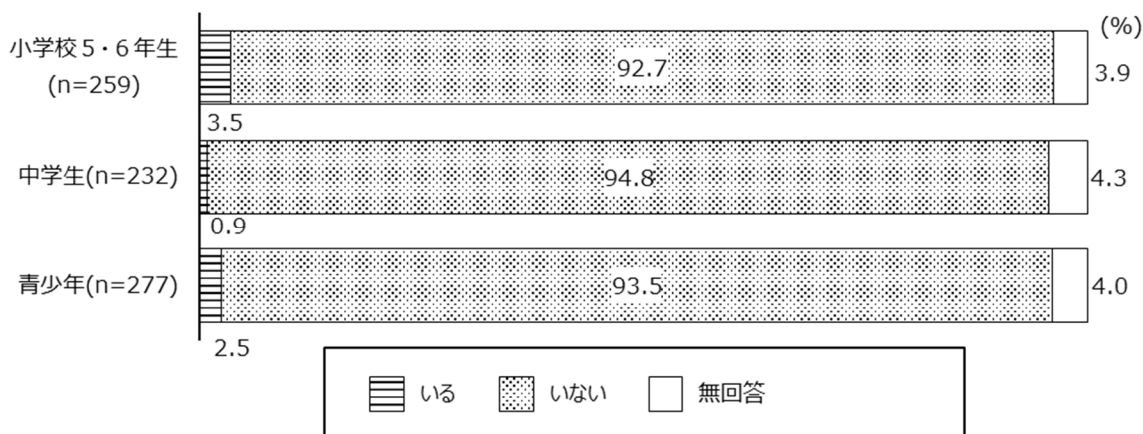
【①就学前児童保護者・②小学生保護者・③小学校5・6年生・④小学校5・6年生保護者・⑤中学生・⑥中学生保護者・⑦青少年】



家族の中でお世話している人がいると回答したのは、小学校5・6年生で3.5%と最も多く、青少年の2.5%、中学生の0.9%と続きます。

図表 46 家族の中であなたがお世話をしている人がいるか

【③小学校5・6年生・⑤中学生・⑦青少年】



(21) コロナ禍以降も続く生活の変化

コロナ禍を経て、現在も続いている子どもの生活の変化について、就学前児童保護者以外のすべての調査対象者において、「パソコン、タブレット、スマートフォン、ゲーム機器等の使用時間が長くなった」が最も多く、特に小学生保護者では、43.0%の人が回答しています。

また、「特にない」との回答も多く、就学前児童保護者で第1位、小学校5・6年生と青少年で第2位、中学生と若者で第3位に挙がっています。

図表 47 コロナ禍を経て、現在も続いている（子どもの）生活の変化（複数回答）

(%)

順位	①就学前児童保護者 (n=1,247)	②小学生保護者 (n=1,042)	③小学校5・6年生 (n=259)	④小学校5・6年生保護者 (n=322)
1	特にない 32.0	パソコン、タブレット、スマートフォン、 ゲーム機器等の使用時間が長くなった 43.0	パソコン、タブレット、スマートフォン、 ゲーム機等の使用時間が長くなった 29.7	パソコン、タブレット、スマートフォン、 ゲーム機等の使用時間が長くなった 38.8
2	イベントや行事への参加機会が減った 24.4	イベントや行事への参加機会が減った 29.0	家族と過ごす時間が増えた 27.0 (同率2位)	イベントや行事への参加機会が減った 36.0
3	家族と過ごす時間が増えた 23.6	運動頻度・運動時間が減った 28.6	特にない 27.0 (同率2位)	運動頻度・運動時間が減った 28.9
4	友だちと直接会う機会が減った 22.6	家族と過ごす時間が増えた 26.8	運動頻度・運動時間が減った 23.2	家族と過ごす時間が増えた 24.8
5	パソコン、タブレット、スマートフォン、 ゲーム機器等の使用時間が長くなった 20.9	友だちと直接会う機会が減った 25.4	イベントや行事への参加機会が減った 21.6	友だちと直接会う機会が減った 20.5

(%)

順位	⑤中学生 (n=232)	⑥中学生保護者 (n=328)	⑦青少年 (n=277)	⑧若者 (n=235)
1	パソコン、タブレット、スマートフォン、 ゲーム機等の使用時間が長くなった 35.8	パソコン、タブレット、スマートフォン、 ゲーム機等の使用時間が長くなった 39.9	パソコン、タブレット、スマートフォン、 ゲーム機等の使用時間が長くなった 30.7	パソコン、タブレット、スマートフォン、 ゲーム機等の使用時間が長くなった 33.6
2	運動頻度・運動時間が減った 27.6	イベントや行事への参加機会が減った 29.6	特にない 29.2	友だちと直接会う機会が減った 29.8
3	特にない 26.7	外出する機会が減った 25.9	イベントや行事への参加機会が減った 22.7	家で一人で過ごす時間が増えた 23.4 (同率3位)
4	家族と過ごす時間が増えた 22.8 (同率4位)	運動頻度・運動時間が減った 24.7	運動頻度・運動時間が減った 20.9	特にない 23.4 (同率3位)
5	外食する機会が減った 22.8 (同率4位)	友だちと直接会う機会が減った 23.2	家族と過ごす時間が増えた 19.5	家族と過ごす時間が増えた 外食する機会が減った 20.9 (同率5位)

この印刷物は、業務委託により2,500部印刷製本しています。その経費として1部あたり70円（税別）がかかっています。ただし、編集時の職員人件費等は含んでいません。

新宿区子ども・子育て支援に関する調査報告書（概要版）

印刷物作成番号

発行年月 令和6（2024）年3月

2023-11-3001

編集・発行 新宿区子ども家庭部子ども家庭課

〒160-8484

新宿区歌舞伎町一丁目4番1号

電話03（5273）4260

新宿区は、環境への負担を少なくし、未来の環境を創造するまちづくりを推進しています。
本誌は森林資源の保護とリサイクルの促進のため、古紙を利用した再生紙を使用しています。